

会長のページ 健康食品とサプリメントによる健康被害	稲倉 正孝	3
日州医談 参議院議員比例代表選挙の意味	池井 義彦	4
随 筆 私にとっての小旅行	谷口 二郎	6
エコー・リレー( 452)	内野 竜二, 久保田秀紀	8
メディアの目 「宮崎牛」PR 考	池田 亨	12
宮崎大学医学部だより( 解剖学講座組織細胞化学分野)	菱川 善隆, 日野真一郎	16
専門分科医会だより( 皮膚科医会)	成田 博実	17
診療メモ 2012年麻疹小流行の教訓	三宅 和昭	52
私 の 本 わかりやすい病気の話&人体解剖・薬の基礎知識	大塚 伸昭	55

あなたできますか?(平成23年度医師国家試験問題より)	9
宮崎県感染症発生動向	10
各都市医師会だより	14
薬事情報センターだより(311新薬紹介(その61))	18
各種委員会(医学会誌編集委員会)	19
ベストセラー	19
宮崎県医師会創立124周年記念医学会	20
平成24年度日本医師会医療情報システム協議会	21
医師国保組合だより	23
日医インターネットニュースから	26
理事会日誌	28
県医の動き	33
追悼のことば	34
会員の異動・変更報告	39
ドクターバンク情報	41
行事予定	45
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	47
あ と が き	58
~~~~~	
お知らせ 宮崎県医師会勤務医住宅ローンの融資利率改定について	13
宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ	32
郡市医師会への送付文書	56

## 医師の心得

- 1 . 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14年 3月 12日制定)

〔表紙作品 書〕

翔

一人娘に、漢字一文字を贈るつもりで書きました。中高校生になると、親の言う事もなかなか聞こうとしませんが、良い事も悪い事もすべて自分の糧として成長し、自分の進む道を見つけて欲しいと思っています。

都城市 よし やま としこ  
吉 山 登志子

## 会長のページ

## 健康食品とサプリメントによる健康被害

いな くら まさ たか  
稲 倉 正 孝

健康で楽しい長寿を求めて、多くの人々が健康食品・サプリメントを摂取しており、その人気には根強いものがあります。厚労省によると、約3割の人が毎日摂取し、過去の利用経験を含めると約8割の国民が利用したことがあるとのことです。大人だけでなく、高校生・小学生・幼児にも利用が広がっています。金額にして、数千億円とも1兆円以上とも言われています。

健康食品・サプリメントという用語には、行政的な定義はないとのことです。一般的に、健康食品とは「健康の保持、増進に資する食品全般」、サプリメントとは「特定成分が濃縮された錠剤やカプセル形態の製品」が該当すると考えられています。

健康食品・サプリメントで最も配慮されていることは、医薬品との相違です。経口摂取するもので、医薬品(医薬部外品を含めて)以外のものは、全て食品に該当します。食品に対して、医薬品のような身体の構造や機能に影響する表示は原則として認められていません。「病気を“診断する”、“予防する”、“治療する”、“軽減する”」などの表現は許されていません。

例外として、保健効果や健康効果を期待させる製品として、国が制度を創設して表示を許可しているものに、特別用途食品(乳児、妊産婦、授乳婦、病者など医学・栄養学的な配慮が必要な対象者に適するとして特別の用途の表示が許可された食品)、特定保健用食品(消費者庁長官の許可を得て、特定の保健の用途に適する旨を表示した食品)があり、いずれもマークの表示が許可されています。

平成 25年 2月 28日、厚労省医政局総務課長通知「医薬品と健康食品の相互作用に対する注意喚起等について」の会員への周知徹底の依頼がありました。「健康食品・サプリメントによる健康被害の未然防止と拡大防止」には日本医師会も力を入れており、日医のホームページに掲載されています。

過去に報告されている健康食品・サプリメントが関連した健康被害の事例によると、健康被害の要因としては

製品の品質や偽装表示(違法に医薬品成分を添加、有害物質の混入)

不適切な利用方法(長期間、大量摂取)

利用者の体質等(アレルギー体質、高齢者、妊婦、病者)

医薬品と健康食品・サプリメントとの相互作用(薬理作用減弱、増強)

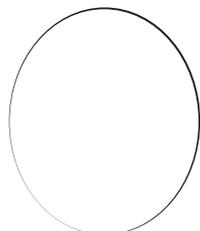
過大な宣伝と、これを信じた患者が健康食品・サプリメントに依存することによる診療機会の逸失

などの問題点が挙げられています。

これらの要因は複合的に影響し、テレビ、雑誌、新聞、インターネットを介して出されている不確かな情報の氾濫が、健康食品に対する誤解や、健康被害の発生につながっています。特に近年は、インターネット等を介した個人輸入による健康被害が増加しています。

(平成 25年 4月 3日)

## 日州医談



## 参議院議員比例代表選挙の意味

常任理事 <sup>い</sup>池 <sup>い</sup>井 <sup>よし</sup>義 <sup>ひこ</sup>彦

今年 7月, 第 23回参議院議員選挙が行われます。日本医師連盟からは過去, 平成 19年は自民党より武見敬三氏を推薦し, 186,616票で落選, 平成 22年は民主党より安藤高夫氏, 自民党より西島英利氏, みんなの党より清水鴻一郎氏を推薦するも全員落選となり, 過去 2 回の参議院比例区選挙で日本医師連盟推薦の議員を国会に送ることが出来ませんでした。この間, 他の医療関係団体(看護連盟, 歯科医師連盟, 薬剤師連盟等)からは議員を国会に送り, 様々な動きをおこなっています。

特に, 看護協会は現在, 特定看護師の「特定行為にかかる研修制度」の導入を着実に進めようとしています。特定行為として挙げられている行為の例としては, 「気管支カニューレの選択・交換」「経口・経鼻挿管の実施」「褥瘡の壊死組織のシャープデブリードマン」「動脈ラインの確保」「腹腔ドレーンの抜去」「脱水の程度の判断と輸液による補正」「臨時薬剤(抗不安薬・抗精神病薬・感染徴候時の薬物等)の処方」など 29項目があり, 難易度が高い医行為が含まれており医療安全上容認出来ない内容が多く含まれています。

また, 薬剤師会では, スイッチ OTC 化問題があります。OTC とは「Over The Counter」の略で, 街の薬局のカウンター越しに売られる薬, つまり市販薬のことを指します。以前は医療薬であったものが, 市販薬として薬局でも買えるように販売が許可されたものを, 医療薬から市販薬(OTC)にスイッチされたということから「ス

イッチ OTC」といいます。最近スイッチ化された薬剤としては, 抗アレルギー薬, 消炎鎮痛剤など増加してきており, 昨年末, 生活習慣病薬のスイッチ薬として高脂血症治療薬の承認が問題となりました。これに対しては, 日本医師会は「生活習慣病患者が自己判断で医薬品を使用することは非常に危険」として, 生活習慣病全般のスイッチ OTC 化を見直すべきと表明しています。これを決定した厚生労働省の薬事・食品衛生審議会一般用医薬品部会の委員構成は, 「委員 19名の内, 薬系が多数を占めている」という背景があります。医師会は「少なくとも薬を処方するのは医師, 薬系が圧倒的に多い委員構成は見直すべき」と主張しています。更には以下のように薬剤師の役割を拡大する動きがあります。

【RAD -AR News 2013年 1月号より抜粋】

『大きくなる薬剤師の役割と責任』と題して, チーム医療の中で薬剤師の役割が変わってきていることがあります。現在, 国はチーム医療を推進していて, これまで医師しかできなかったことを他の職種の人でもできるようにし, 医師不足の対処法の 1つとするよう取り組んでいます。その中には医師と薬剤師が共同で患者さんのプロトコルを作ることもあります。プロトコルを作っておけば, 想定内の患者さんの様子の変化に対し, 医師の了解を取らなくても薬剤師が薬剤の追加などをできるようになります。(中略)医療費削減で入院日数が減れば, 当然在

宅の患者さんが増える。しかし医師はそう頻繁に往診に行けないため、薬剤師が医師が往診しない日に行ってバイタルを取り、情報をチームで共有できることになります。そこで重宝されるのが、バイタルを取る技術もさることながら、その結果の数値と処方内容を見て医師にはない薬学的な見地を持てる薬剤師です。

#### 【社会保険旬報より抜粋】

『薬局の店頭で血液検査 薬局は医療のゲートキーパーに』と題して、薬局で指先穿刺による血液採取で生化学検査を行っている事例を紹介した。慢性腎臓病(CKD)は、新たな国民病とも言われ、推定患者数1300万人におよび、定期的な健診による早期発見が求められている。診療所と連携して薬局でクレアチニン値を測定し、食事指導や患者教育、受診勧奨につなげている。医師が健康診断でクレアチニン値を測定しないので、薬局で検査することを進めている。(中略)「患者はどの医療機関を受診していいのかわからない。薬剤師が患者の医療ニーズを的確に判断して受診医療機関を助言する。薬剤師が医療連携の中でトリアージや紹介機能を持って、これから薬局が医療のゲートキーパーの機能をもつ」と展望した。薬局はきわめて多くの薬剤服用情報を持っており、薬局における測定技術と結び付け、患者の健康相談窓口、国民健康調査窓口

として役割をもつことに期待した。

このようにチーム医療の名の下に、医療における国民の安全がおびやかされる動きが強まっていることが分かります。その他の医療関係団体においても、放射線技師による読影業務、リハビリテーション関係職種の業務拡大、柔道整復師によるレントゲン撮影および読影を求める動きなどがみられます。医師不足、医療費抑制、規制緩和を口実にし、医療関係職種はチーム医療の名目のもとに、法律を改定して業務拡大を目指しています。このような流れが続けば、安心・安全の医療は崩壊し、医療費は高騰します。

他の医療関係団体が組織内議員を有し、私も日本医師連盟が擁していないと、日本医師会の医療政策の実現がますます難しくなります。さらに、政党は団体推薦の比例代表議員を、その団体の代表議員とみる傾向があり、選挙区選出議員とは一線を画しています。医療を取り巻く政策には、医療・介護報酬、税制改正(事業税、四段階税制等)、控除対象外消費税、TPP問題、医療事故調査制度、医療法2条など多くの問題があり、今回の参議院選挙における医師連盟推薦候補の上位当選が出来なければ今後、適切な医療を安全に国民へ提供する体制が崩れる危険があると考えます。会員の皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

## 随 筆

## 私にとっての小旅行

宮崎市 たにぐちレディースクリニック たにぐち じ ろう  
谷 口 二 郎

久しぶりに、お産の入院もないし、生まれそ  
うな人も居ないので小旅行をする事にした。  
仕事柄あまり遠くへ行く事が出来ない。出かけ  
る時は、いつでも帰れるように1時間内なのだ  
が、今日は2時間位車で走ってみようかと思っ  
た。幸い快晴。風が少しあるが絶好のドライブ  
日和だ。

さて、どこへ行こうか。いつもどこにも行け  
ないので、何処に出掛けるか考えるだけでも心  
がワクワクしてくる。県南や県西にはよく行く  
ので、今日は県北に決めた。まず宮崎自動車道  
の宮崎西口インターチェンジへ。自宅から15分  
位の所である。ETCを使いスルーっと中に入  
ると(ETCは初めてつけたが殿様みたいで気分が良  
い)、後は都農まで一本道である。高速なのでノ  
ンストップ30分で都農に到着。

インターチェンジを出て暫くすると海が見え  
てきた。車を降り、浜辺に向かった。海は何度  
来ても良い。潮騒の音を聴きながら、マイナ  
スイオンをたっぷり深呼吸しながら波打ち際を歩  
いてみた。すると丸い石が沢山落ちているのに  
気付いた。どれもこれも角がとれ丸い形をして  
いる。川から流れて海水に揉まれて丸くなった  
のであろう。庭のインテリアに使えるかもしれ  
ないと、数個をポケットに入れた。しばらく歩  
いていると今度は砂山に菜の花が咲いている。  
これも花瓶に活ければ春を感じる事が出来るだ  
ろうと2、3本折り、持って帰る事にした。春  
は近いのだろうが、まだまだ風も強く、荒々し

い海を後にして再び車に乗った。

日向市内に入る途中で高速の表示。南延岡か  
ら北の方へ高速が出来ているらしい。10号線を  
左に曲がりずっと行くが、高速の入口という標  
識もない。道を間違えたか不安な気持ちになっ  
て走っていたら、ようやく高速の看板が。ETC  
で通り中へ入る。ほとんど車は走っていない。  
かなり長いトンネルを抜け進んで行くと途中か  
らここから無料と書いてある。20km位無料とい  
う事らしい。20分位すると北浦のインターチェ  
ンジ。その先は県境を超え大分県の蒲江だ。そ  
の蒲江にも行ってみたかった。北浦より14.2km  
とあるから20分もあれば蒲江に着くはずだ。

大分は私が大分県病院に昭和5年から3年間  
勤めていた関係で、第2の故郷と思っている所  
だ。蒲江はリアス式海岸で道路も狭く、大分市  
からは遠く「大分の陸の孤島」と呼ばれていた。  
それだけに独特の文化がある。漁師町なので  
気風も激しい所だ。そこに行きたい気もした  
が、これ以上遠くは仕事上行けない気がして断  
念した。この時だけは「産婦人科医でなかったら  
なァー」としみじみ思った。後ろ髪を引かれる思  
いでインターチェンジを降り、細い道を通り一  
般道へ出た。

北浦の「道の駅」というのがそこにあり寄る事  
にした。駐車場に車を止めると、その下には海  
岸が広がっている。宮崎市内の海とは全く色が  
違い、海の底が透き通って見える。遠くには小  
さな島がポツンポツンと見える。浜辺を鼻歌を

歌いながらウォーキングした。貝殻が沢山落ちていて、孫を連れて来たら大喜びするだろうなと思いながら歩いた。

道の駅には色んな物が売っていた。緋扇貝というホタテ貝みたいなものも売っていたので買う事にした。水槽の中に生きたまま入っていて、貝殻をかたく閉めたものもあれば、少し緩んでいるものもある。指をその貝の隙間に入れてみた。すると驚いたように口を閉めた。すごい力。そのままだったら骨折まではいかないだろうが跡が残る位の力だ。しばらく指先がしびれていた。ホタテと同じ様に刺身にしたり、焼いたりして食べるらしい。それを Tongue で挟みカゴに入れる。すると慌てて口を閉めた瞬間、中に入っていた水が飛び出してくる。それはまるで水鉄砲みたいである。

その他に「蛤のメシの元」というのを買った。これは蛤が入っていて、混ぜご飯にすると絶品の味なのだ。その為、当院の給食にも出てくるイチオシのお土産なのである。

売店に行くと道の駅オリジナルというソフトクリームを売っていた。目の前でノズルからグニュグニュとカップに流し込むソフトクリームなのである。その中のメニューに「塩味」というのがあったので注文してみた。なるほど塩の味がする。不思議な味だ。辛くもなく甘くもない。ハマる味である。聞く所によると、この場所は昔塩田があり塩を作っていたらしい。そこでア

イスクリームに塩を混ぜてみようというちょっと変わったアイデアが浮かんだのだろう。

その後北川『はゆま』という「道の駅」に寄り、「地獲れ山獲れ」という天然イノシシ肉を見つけた。肉が1~2cmにスライスしてあり、そのまま料理をすればいいようになっている。250g 2,100円である。これはいいと思い買い求めた。

私はこれを焼いて食べるのが好きだ。その中でも毛根が残っている皮の部分はコリコリしていて歯ごたえがあり美味しい。これをバーベキューみたいに網の上で焼くのだ。

西米良の「ゆた~と」のレストランには、このイノシシの網焼きというのがメニューとしてある。これは山獲れのイノシシの皮の部分をスライスし、焼いて食べるのであるが、皮下脂肪の中の毛根の部分はそのまま出てくるので、私はここのシシ肉が好きだ。

さてお土産を袋一杯詰め込み帰る事にした。もう夕方、そろそろ風も冷たくなってきた。それから高速を使って2時間で宮崎に着いた。

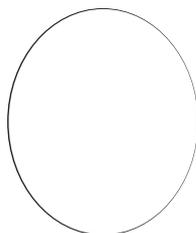
朝10時出発。夜7時帰宅という普通ならお出掛けというのだけれど、私にとっては立派な小旅行なのである。たった10時間の小旅行だったが、充分楽しめた。幸いにお産の入院もなく良かった。ちなみに携帯は胸のポケットに入れてあり、呼ばれたらいつでも帰れるようになっている。又時間があったら小旅行を楽しみたいと思う。

# エコー・リレー

( 452回 )

( 南から北へ北から南へ )

## 趣味の充実

宮崎市 猪島医院 <sup>うち</sup> <sup>の</sup> <sup>りょう</sup> <sup>じ</sup>  
内 野 竜 二

約 10年前、大学院に入学し、医局医員の時間に追われた生活から、一時の緩やかな時間を経験した。その中で、開花した趣味が 3つある。

ひとつは読書だ。本から吸収する知識や経験は、足りない自分を補ってくれる。

第 2 はオートバイだ。車での快適空間とうらはら、自然の厳しさと豊かさを直に感じる事ができ、魅力だった。

第 3 はランニングだ。当初は、3 ~ 5 kmの大学外周から始まった。大学院の後輩達を引き連れて、夕方ラン。そのうち、県内のハーフマラソン、青太、指宿などのフルマラソンの大会に出場を重ね、ラン友との交流も楽しんだ。遂には、昨年 6月、阿蘇カルデラウルトラマラソン 100kmを完走した。実に 12時間 30分もかかる貴重な体験だった。さらに今シーズンは念願の 3大都市フルマラソン(大阪 5倍、東京 10.3倍、京都 3.3倍の難関)の全てに奇跡的に当選し、人生の運を使い果たしたかと思うほどだった。全てを完走。街の風景と観衆を楽しめた。

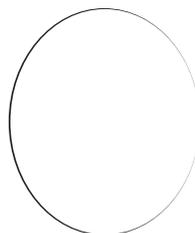
約 4 年前から、宮崎市大塚町の鮮ど市場の裏で、猪島医院外科内科の在宅や外来を切り盛りしているが、この趣味だけは続いている。

いつもフルマラソンを、完走できる自信はない。ただ思うことは、千里の道も一歩から、きついついときがあっても、必ずゴールには近づいているのだ。自分のペースでやっていけば、到達することができるだろうということだ。

コンゴノナニカの役に立っていければ...と、そう思う今日この頃である。

[ 次回は、宮崎市の鈴木 良彦先生にお願いします ]

## 神頼み

都城市 くぼた眼科 <sup>く</sup> <sup>ぼ</sup> <sup>た</sup> <sup>ひ</sup> <sup>の</sup> <sup>り</sup>  
久保田 秀 紀

建国記念の日に、広島出身の親友と宮島を訪れた。二人とも大学受験の娘を持ち、「神にいつく(仕える)島」という厳島(宮島)の神仏にお参りして最後の神頼みをしようという

魂胆である。参拝も終わり、あなごめしと日本酒でふわっとした気分の帰り、フェリー船上でのこと... 30年来の親友が右手の似島(にのしま)を眺めながら「初めて言うけど...」と話し始めた。原爆投下後、似島に多くの被爆者が運び込まれ、彼の祖母も被爆した親戚を探するため、島を訪れたらしい。その時の惨状、被爆した人々がどのようにして亡くなっていったかを、まるで彼自身が目撃していたかの様に生々しく語っていった。そして、70年近く経った今も、彼ら被爆者家族にはその記憶が連綿と続いていることを訴えた。彼の告白を聞き、ぼーっとした頭に福島第一原発の水素爆発の画像が浮かぶ... 紀元前 660年に建国されたという日本国が、これからも未来永劫存在し続けることができるのだろうか? 人間の知恵と、努力で娘たちの未来を絶対に守ってもらいたい。最後の神頼みという悲惨の状況にだけはなってもらいたくないものだと思う。しかし、次の日、某国の核実験の報に触れ、やっぱり神頼みしかないのかと暗澹たる気持ちになってしまった。

[ 次回は、宮崎市の森山 重人先生にお願いします ]



## あなたできますか？

平成23年度 医師国家試験問題より

(解答は57ページ)

1. 発熱を伴わないのはどれか。
  - a 腎膿瘍
  - b 急性腎盂腎炎
  - c 急性膀胱炎
  - d 急性前立腺炎
  - e 急性精巣上体炎
2. 胸部エックス線写真で左第3弓の突出がみられやすいのはどれか。
  - a 僧帽弁狭窄症
  - b 肥大型心筋症
  - c 陳旧性心筋梗塞
  - d 大動脈弁狭窄症
  - e 大動脈弁閉鎖不全症
3. 肝硬変の進行とともに上昇するのはどれか。
  - a 血小板数
  - b ICG 15分停滞率
  - c 血清アルブミン値
  - d ヘパラスチンテスト値
  - e Fischer(分岐鎖アミノ酸/芳香族アミノ酸)比
4. 甲状腺乳頭癌について正しいのはどれか。2つ選べ。
  - a 女性に多い。
  - b 高齢者に多い。
  - c 甲状腺濾胞癌よりも予後不良である。
  - d 血中サイログロブリンが低値となる。
  - e 甲状腺超音波検査で砂粒状石灰化がみられる。
5. 生後3日の新生児。在胎39週、2,980gで出生した。心拍数108分/整。呼吸数42分。心音と呼吸音とに異常を認めない。内眼角贅皮、瞼裂斜上、小さい鼻根および巨舌を認める。筋緊張が低下している。両親は「Down症候群の疑いがあります」とだけ説明を受けている。
 

まず行うべき対応として適切なのはどれか。

  - a 合併症について説明する。
  - b 患者会の連絡先を伝える。
  - c 両親の染色体検査を行う。
  - d 両親が何を心配しているかを聞く。
  - e 次回の妊娠時に出生前診断を行うよう勧める。
6. 3歳の女兒。3歳児健康診査で難聴が疑われて来院した。妊娠・分娩経過に問題なく、在胎40週2日、体重3,100gで出生した。鼓膜所見と身体診察所見とに異常を認めない。
 

この患児に実施する精密検査として最も適切なのはどれか。

  - a 音叉検査
  - b 純音聴力検査
  - c 遊戯聴力検査
  - d 語音聴力検査
  - e 自記オージオメトリ
7. 56歳の女性。2年前から再生不良性貧血で治療中である。本日、赤血球輸血を行ったところ、輸血開始から約15分後に、全身の痒痒感と呼吸困難とを訴えた。これまでも輸血を受けているが、同様の症状は経験していない。脈拍116分/整。血圧72/50mmHg。呼吸数24分。SpO<sub>2</sub>90%(room air)。全身の皮膚は発赤し、膨疹が広がっている。両側の胸部にwheezesを聴取する。直ちに輸血を中止した。
 

次に行うべき対応として適切なのはどれか。

  - a 気管挿管
  - b 利尿薬の投与
  - c アドレナリンの投与
  - d 胸部エックス線撮影
  - e 側臥位への体位変換
8. 女性の骨盤内解剖で正しいのはどれか。
  - a 尿管は腹腔内を走行する。
  - b 卵巢動脈は腎動脈から分岐する。
  - c 子宮円索は基韧带の一部を構成する。
  - d 子宮動脈は内腸骨動脈から分岐する。
  - e Douglas窩とは子宮と膀胱の間を指す。
9. 52歳の女性。会社の健康診断で総コレステロール270mg/dlと血清CK 400U/l(基準30~140)とを指摘され来院した。自覚症状は特にない。生来健康であり、サプリメントを含め薬は服用していない。運動習慣はなく、転倒の既往もない。最近、便秘と乾燥肌が気になっているという。
 

診断のためのスクリーニング検査項目として適切なのはどれか。

  - a GH
  - b LH
  - c FSH
  - d TSH
  - e ACTH
10. 6歳の女性。嚥下困難を主訴に来院した。5日前から水を飲み込みにくい感じがあり、徐々に増悪してきた。嚥下困難の原因検索のため入院となった。血液検査、上部消化管内視鏡検査、頸部CT及び胸部CTに異常を認めなかった。入院後4日、患者は口を開けられないと訴えた。身体診察で胸鎖乳突筋の筋緊張亢進を認める。
 

考えられるのはどれか。

  - a 破傷風
  - b 多発性筋炎
  - c 重症筋無力症
  - d 多発性硬化症
  - e Guillain-Barré症候群

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 2月～

平成 25年 2月 4日～平成 25年 3月 3日(第 6週～9週)

## 全数報告の感染症

- 1 類：報告なし。
- 2 類 結核 26例が報告された。保健所別報告数を【図 1】に示した。患者が 1例、無症状病原体保有者が 5例、疑似症患者が 4例で、患者は肺結核が 13例、その他の結核(腸結核、結核性胸膜炎等)が 4例であった【表 1】。男性 13例・女性 13例で、年齢別報告数を【表 2】に示した。
- 3 類 腸管出血性大腸菌感染症が宮崎市(3例)、中央(5例)保健所から報告された。患者・無症状病原体保有者がそれぞれ 4例で、男性・女性がそれぞれ 4例であった。年齢別報告数を【表 3】に、○血清型別報告数を【表 4】に示した。
- 4 類 ○E 型肝炎 日南保健所から 1例報告された。患者は 50歳代で発熱、全身倦怠感、食欲不振、黄疸などがみられた。  
○つつが虫病 小林保健所から 1例報告された。患者は 50歳代で頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発しんがみられた。
- 5 類：○アメーバ赤痢 宮崎市(3例)、高鍋(1例)保健所から報告された。患者は 30歳代・50歳代・70歳代・90歳代で、腸管アメーバ症が 3例・腸管外アメーバ症が 1例であった。主な症状は、下痢、粘血便、腹痛、肝膿瘍がみられた。  
○ウイルス性肝炎 宮崎市保健所から 1例報告された。患者は 30歳代で病原体はサイトメガロウイルス。褐色尿、発熱、肝機能異常、黄疸、咽頭痛、心窩部痛がみられた。  
○梅毒 宮崎市保健所から 1例報告された。患者は 40歳代で無症候。  
○風しん 都城保健所から 1例報告された。患者は 10歳代の女性で検査診断例。発しん、発熱、リンパ節腫脹、咽頭痛、眼球発赤がみられた。ワクチン接種歴なし。推定感染地域は東京都。

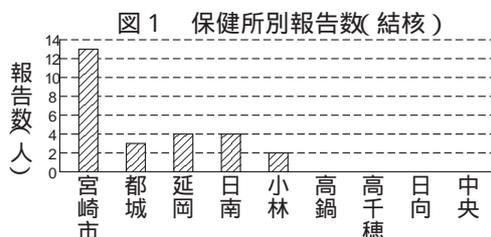


表 1 結核の病型及び報告数(人)

肺結核	13
その他の結核	4
無症状病原体保有者	5
疑似症患者	4

表 2 結核の年齢別報告数(人)

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
2	2	4	3	6	8	1

表 3 腸管出血性大腸菌感染症の年齢別報告数(人)

1歳	2歳	5歳	20歳代	50歳代	70歳代
2	1	1	1	2	1

表 4 腸管出血性大腸菌感染症の○血清型及び毒素型別報告数(人)

	VT1	VT2	VT1VT2	VT
○ 111			6	
○ 115	1			
不明		1		

## 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は 8,751人(定点あたり 199.3)で、前月比 81%と減少した。また、例年と比べると 108%と多かった。

前月に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと水痘であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は咽頭結膜熱と流行性角結膜炎であった。

## 病原体検出情報(微生物部)

検出病原体		件	臨床症状等
細菌	Salm onella ○ 4群血清型不明	1	・健康保菌者
ウイルス	アデノウイルス 1型	1	・嘔吐下痢症、胃腸炎、39.0℃、ショック症状、腎機能障害
	コクサッキーウイルス A 6型	1	・手足口病、39.0℃、水疱
	パルボウイルス B 19	1	・伝染性紅斑、39.2℃、紅斑

インフルエンザの報告数は4,841人(82.1)で前月の約7割、例年の約1.2倍であった。小林(134.0),延岡(109.3),都城(102.9)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の37%,6~9歳が19%,10~14歳が16%,15~19歳が4%,20歳代から50歳代が19%,60歳以上が5%を占めた。

RSウイルス感染症の報告数は188人(5.2)で前月の約1.4倍、例年と同程度であった。日向(19.3)保健所からの報告が多く、年齢別では2歳以下が全体の約8割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は369人(10.3)で前月の約1.1倍、例年の約8割であった。日南(18.7),日向(16.8)保健所からの報告が多く、年齢別では3~6歳が全体の約6割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は158人(4.4)で前月の約8割、例年の約1.8倍であった。延岡(6.8),日南(6.7)保健所からの報告が多く、年齢別では1~4歳が全体の約7割を占めた。

### 月報告対象疾患の発生動向 2月

#### 性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数 13

定点医療機関からの報告総数は32人(2.5)で、前月比110%と増加した。また、昨年2月(2.3)の約1.1倍であった。

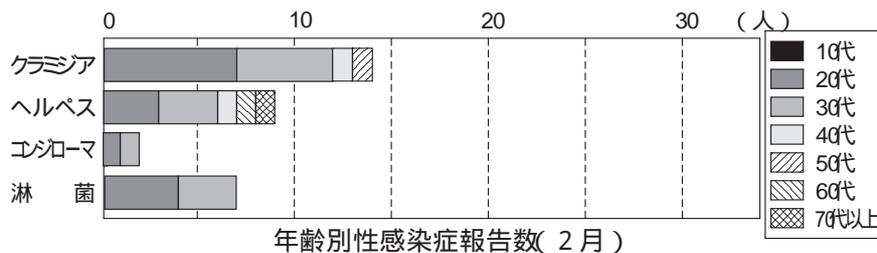
#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症 報告数14人(1.1)で、前月の約8割、前年の約7割であった。20歳代が全体の約半数、30歳代が約4割を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症 報告数9人(0.69)で、前月の約2.3倍、前年の約1.5倍であった。20歳代・30歳代がそれぞれ全体の約3割を占めた。
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月及び前年の約2倍であった。20歳代と30歳代であった。
- 淋菌感染症 報告数7人(0.54)で、前月の約1.2倍、前年の約1.8倍であった。20歳代が全体の約6割を占めた。

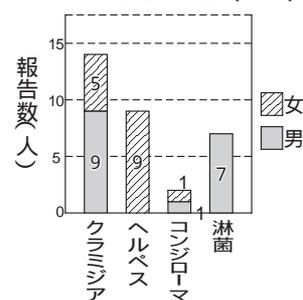
前月との比較

	2013年2月		2013年1月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	4,841	82.1	6,890	116.8	
RSウイルス感染症	188	5.2	137	3.8	
咽頭結膜熱	158	4.4	205	5.7	
溶レン菌咽頭炎	369	10.3	326	9.1	
感染性胃腸炎	2,423	67.3	2,482	68.9	
水痘	491	13.6	581	16.1	
手足口病	5	0.1	15	0.4	
伝染性紅斑	6	0.2	18	0.5	
突発性発しん	126	3.5	152	4.2	
百日咳	0	0.0	0	0.0	
ヘルパンギーナ	11	0.3	3	0.1	
流行性耳下腺炎	70	1.9	81	2.3	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	58	9.7	99	16.5	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	1	0.1	5	0.7	
マイコプラズマ肺炎	4	0.6	6	0.9	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	

例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い  
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



男女別性感染症報告数(2月)



#### 薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数 7

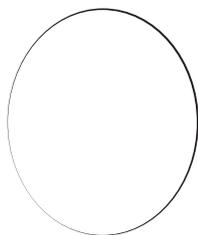
定点医療機関からの報告総数は51人(7.3)で前月比100%であった。また、昨年2月(3.0)の約2.4倍であった。

#### 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 報告数49人(7.0)で、前月と同程度、前年の約2.7倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 報告数2人(0.29)で、前月の2倍、前年の約7割であった。70歳以上の報告であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症 報告はなかった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症 報告はなかった。

(宮崎県衛生環境研究所)

## メディアの目



## 「宮崎牛」PR考

毎日新聞宮崎支局長

いけ だ とおる  
池 田 亨

「宮崎牛」は、どれくらい有名なのだろう。

昨年 10月、和牛のオリンピックといわれる 5年に 1度の全国和牛能力共進会で、宮崎県勢は種牛の部で最高賞の内閣総理大臣賞に輝き、9部門中 5部門で日本一となった。口蹄疫の惨禍から復活して果たした「連覇」である。共進会後の競りでは、「日本一」効果か、取引価格が上昇し、県外からも多数のバイヤーが集まった。また、牛 1頭分に約 2,000万円の値がつき、東京スカイツリーの「東京ソラマチ」などで販売されたのも話題になった。

河野俊嗣知事は記者会見で「日本一という他にない武器を、今後どう生かすかが課題。全庁挙げて、宮崎牛のプロモーションに取り組む」と述べた。JA 宮崎経済連の羽田正治会長も「県全体で何でも利用して売っていく」と語った。

努力は今も重ねられていると思うのだが、実際にどれだけ知名度が上がっているかとなると、いささか心もとない。関東や関西に住む知人に聞いても、宮崎牛がその実力ほどに知られているとは思えないのだ。

同じ懸念をもった支局の若い記者たちが、宮崎牛 PR のささやかなプランを考えた。いかにもうまそうに料理を食べた後の決め台詞「まいう〜」でおなじみのタレント、石塚英彦さんに「宮崎牛

大使』になってもらうのだ。テレビ番組などのあらゆる露出の機会に宣伝してもらえば、効果は小さくないはずだ。

実は下地はある。石塚さんは口蹄疫禍の 2010年、宮崎市出身のギタリスト、三宅伸治さんらと「ビーフジャンキーズ」というバンドを結成し、復興応援の CD を作った。昨年 9月には都農町でライブもやった。その際のインタビューでは、自らを「宮崎大好き人間」と称し「宮崎を忘れても、宮崎牛を忘れたことはない(笑)。宮崎牛を広める大使と思い、グルメレポートとかでどんどん出していきたい」と話している。

記者は、県や JA 関係者にこのことを伝えた。私も 2月、知事にお会いした際に話してみた。石塚さん一流のリップサービスだったかもしれないが、はるばる口蹄疫復興支援のライブに来て歌ってくれる人なのである。宮崎牛の質の良さはもとより、乗り越えた苦難まで御存知ならば、「大使」としてこれ以上の適任者はいないだろう。

残念ながら、今のところ県や関係団体が実際に動いたという話は聞かない。しかし、次の共進会まで 4年余りあり、少なくともそれまでは「日本一」を名乗ることができる。まだ遅くはない。

## お知らせ

宮崎県医師会勤務医住宅ローンの  
融資利率改定について

下記のとおり改定されましたのでお知らせいたします。

## 1. 改定内容( 融資利率 )

区 分	改 定 後	現 行	改 定 幅
変動金利型 (長プラ連動型)	年 1.15%	年 1.25%	- 0.10%

## 2. 実施日(平成 25年 4月 1日(月)以降の新規貸出実行分より適用)

## 3. 商品概要

融資限度額	50万円～5,000万円
資金用途	住宅の新築・増改築・補修資金, 住宅用地の購入資金
金 利	【固定金利選択型】(2年) 1.10% , (5年) 1.30%
	(10年) 1.70% , (15年) 2.80%
	【変動金利型】(長プラ連動) <u>1.25%</u>
	【変動金利型】(短プラ連動) 2.425%
融資期間	30年以内
担 保	要担保
保 証 人	法定相続人, 担保提供者, 年収合算者
備 考	借入時 65歳以下, 完済時 70歳以下, 団信生命保険付
提携銀行	宮崎銀行

問合せ先 宮崎県医師会 経理課 ☎ 0985-22-5118

## 各郡市医師会だより

### 延 岡 市 医 師 会

延岡市医師会は延岡市の医療資源確保に今も一喜一憂している。医師会病院では昨年 4 月に 2 人の常勤医が増えたが、昨年暮れに白瀉智一先生が辞められ、3 月末には第一内科から派遣されていた大塚正晃先生が退職された。後任の見通しは今のところない。昨年 4 月に東九州メディカルバレー構想・延岡メディカルタウン構想の一環事業として、県立延岡病院に宮崎県と延岡市の共同寄附講座である血液・血管医療学講座が設置され、藤元昭一教授が週に 2 日、助教の岩坪修司先生が常勤として赴任されている。4 月からは県病院に待望の消化器内科医が 2 人赴任されるが、救急患者は暫らくは診られないとのことで、消化管出血の輪番制はそのまま続けざるを得ない。脳血管障害の輪番制も平成 2 年 4 月より継続中で、各医療機関と医師・関係者の疲弊も限界に達しており、輪番に参加されていない先生方の応援を求めなくてはならない状況になりつつある。

延岡市在宅医療連携のための研修会が 3 月 16 日に開かれ、医療、介護、福祉、行政の関係者約 250 人が一堂に集い、今後の連携について話し合われた。延岡市医師会は医療・介護・福祉・行政の連携を図るために『地域医療ネットワーク連絡協議会』を平成 18 年より 9 回開催し、延岡では多職種間での連携が整いつつあるため、在宅医療においても今後スムーズに進んでくれることを望む。

ウルスラ高校看護科が本年 4 月に開設される。高等学校と看護科を兼ねた 5 年一貫教育看護科だが、県内にある同様の学校の卒業生は殆ど県外に就職しているのが実態である。宮崎県は看護師不足地域なのに看護師供給基地となっている。今回の開設に当たり延岡市医師会も行政も地元に残る学生の輩出を求めているところである。ウルスラ学園も卒業生を県内に残すと説明しているが、未来永劫そのようになっていただきたいと考えている。

これからも多くの関係者の辛抱と協力・連携が必要である。 (佐藤 信博)

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

### 日 向 市 東 臼 杵 郡 医 師 会

ここ数年で、医師会館周辺の景観が変わりつつあります。日向市駅舎の新築、付随するように建てられた 15 階建ての高層マンション、2 月末には 10 号線沿いに日向警察署庁舎も竣工しました。また、隣接している JA 会館改築工事も 10 月末には竣工の予定です。日向警察署が隣接することになったことで、医師会館周辺の防犯管理や交通事故防止意識に波及効果が出てきそうです。 (渡邊 康久)

◇ ◇ ◇ ◇

### 児 湯 医 師 会

現在、看護協会、神奈川県知事らによって准看護師の廃止の動きがみられております。私達地方で病・医院を開業しているものにとって、

准看護師は重要な仲間であり准看護師の役割は大変重要です。もし、准看護師の存在がなければ、地方の医療は崩壊確実です。

私どもの児湯准看護学校は、毎年約 400 万円の赤字ですが、地方の医療崩壊を防ぐため年 20 名前後の准看護師を送りだしています。卒業していった彼・彼女達が地方の医療を支えています。このことをもっと世間に周知すべきと思います。

児湯准看護学校は、地域医療の救世主となるべく今後も赤字経営に立きながらも頑張っていく所存です。 (坂田 師隣)

◇ ◇ ◇ ◇

### 西 都 市 ・ 西 児 湯 医 師 会

今年の 1 月に西都市長選挙が行われ、現職の市長が当選しましたが、西都市、西都児湯医療センター、西都市・西児湯医師会の諸問題が以

前から起きており、また4月から医療センターの医師数も減り、今まで行っていた夜間の一次救急は困難になり今後の対応をどうすればいいのかが問題になっています。(鶴田 明土)

◇ ◇ ◇ ◇

### 南 那 珂 医 師 会

平成24年10月県立日南病院に地域総合医育成サテライトセンターが設置されました。後期研修の医師を募集して地域医療に貢献できる地域総合医を育成することを目的としています。宮崎大学医学部地域医療学講座より派遣された松田俊太郎先生が中心になって準備を進めているところです。串間市民病院からも早川学先生がスタッフとして参加することになっています。

(黒木 和男)

◇ ◇ ◇ ◇

### 西 諸 医 師 会

2月より、西諸地区の公的病院である小林市立病院の駐車場の一角に、ヘリポートを整備する工事を開始しました。3月中に飛行訓練を予定しております。

平常時は、ドクターヘリの離着陸場として、災害発生時には災害拠点病院の附帯施設として機能します。ヘリポートの整備により、傷病者の救命率の向上と後遺症の軽減に貢献するとともに、災害発生時には、広域連携体制の円滑な構築が図られて、西諸地区の安全・安心な暮らしの実現に寄与すると思われま。

小林市立病院の駐車場が狭くなりますので、多少複雑な思いがあります。(新添 謙一)

◇ ◇ ◇ ◇

### 宮 崎 市 郡 医 師 会

宮崎市郡医師会が宮崎市からの委託を受けて運営している宮崎市小児診療所が、平成25年度をもって県立宮崎病院に集約されることは既に報道で述べられているとおりです。今回の集約化は、宮崎県小児救急医療体制充実の一環として県央地区小児医療体制整備計画に基づいて行

われるものです。報道では「宮崎市小児診療所の廃止」という内容でしたが、10名以上の小児科医で24時間小児を受け入れるセンターともいえるべきものをつくるための措置ということで、決して小児医療体制が後退するものではありません。

小児診療所の移転統廃合に伴い、宮崎市夜間急病センター小児科も内科、外科と切り離して県立宮崎病院内に移転を計画しています。形態は現状を維持し、一次救急は会員と宮崎大学医学部小児科のご協力で行い、二次救急が必要な場合はそのまま県立宮崎病院に入院することになります。つまり、小児救急医療は一次から三次まで同じ敷地内で行われることになり、市民、県民にとっても利用しやすい施設が完成することになります。これらの施設は平成26年4月1日から供用開始予定です。

県央地区の小児医療体制が充実すれば県全体にも良い影響があると思われま。県北、県西、県南の医師会員にもご理解を願えれば幸いです。

(高村 一志)

◇ ◇ ◇ ◇

### 都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

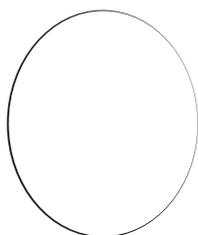
当地域の小児救急医療が岐路に立っている。都城市には都城病院と医師会病院に小児科病棟があり、夜間救急(19時~7時)は医師会病院併設の夜間急病センターで対応しています。現在医師会病院は福岡大学より2名、宮崎大学より1名の計3名態勢で、夜間急病センターは彼らを主に、宮崎大学小児科と会員で対応しています。平成25年度より1名減の2名となり、夜間急病センターの当直の組み直し(宮崎大学・都城病院・会員の当直増)により何とか25年度は目処が立ちましたが、平成26年度も小児科医減少の可能性が有ります。飯田会長を始めとして小児科医確保に努力していますが、困難を極めています。地方での救急医療は大学からの協力が不可欠で、小児科医不足の中での派遣は大変ですが、今後も大学からの支援を強くお願いしたい。

(橋口 兼英)

◇ ◇ ◇ ◇

## 宮崎大学医学部だより

### 解剖学講座 - 組織細胞化学分野 -



ひしかわ よしたか  
菱川 善隆 教授

201年 8 月より解剖学講座組織細胞化学分野(旧分子細胞生物学分野)を担当している菱川善隆です。早いもので宮崎に赴任して 1 年半が過ぎました。2013年 3 月現在の教室構成メンバーは、

菱川善隆(教授), 日野真一郎(講師), Chojjook-huu Narantsoy(助教 モンゴル国出身), 川並知子(事務補佐員)の計 4 名です。他に Jutapon Chyayapong(医学獣医学総合研究科大学院生: タイ国出身)も共同研究を行っています。今年 4 月にはミャンマーおよびモンゴルから助教・大学院生が加わる予定であり, 国際色豊かな教室となりつつあります。

当教室では, 免疫組織化学, サウスウェスタン組織化学, *in situ*ハイブリダイゼーション法といった分子組織細胞化学的方法論を用いて細胞・組織レベルでの遺伝子・転写調節因子・蛋白質の発現動態を解析しています。具体的には, 生殖器官や消化管でのエストロゲン受容体を介したミトコンドリア動態変化と細胞機能制御に関する研究や, 組織形成や細胞分化におけるユビキチン・プロテアソーム分解系の生物学的役割に関する研究を行っています。今後も形態科学を基盤とした分子組織細胞化学的方法論を用いて, 分子から組織までを総合的に理解し「生命の本質」に迫る研究を行っていきたいと考えています。

学部教育では, 主に組織学講義・実習を担当しています。的確な標本観察力による正常構造に対する深い理解と知識を習得させ, 病理学を

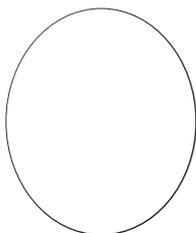
はじめその他の基礎医学, 更にそれに続く臨床医学を十分に理解するのに必要な基本的学力を身に付けさせることを目標として, 講義・実習を行っています。また, 本学の解剖学実習の特徴として, 組織学実習と肉眼解剖学実習を解剖学講座超微形態科学分野(旧・第二解剖 澤口朗教授)と密接に連携をとりながら両分野教員スタッフ全員で「ALL 解剖学」を合言葉に実習に取り組んでいる点が挙げられると思います。全国的に見ても解剖学両分野合同の実習指導は珍しいのですが, 教員の総合的な教育力を高める点でも非常に役に立つ協体制だと考えています。

医学部では 3 年生を対象に研究室配属を実施していますが, 2012年度は 2 名の学生が当教室にて研究を行いました。短期間でしたが基礎医学研究の愉しさを理解してもらうことが出来たと思います。臨床医として地域医療に貢献する医師を養成することも大切ですが, 研究室配属等を通じて研究者の育成にも力を注いでいきたいと考えています。

地域貢献の一環として, 解剖学講座両分野共同で宮崎県内の看護師, 救急救命士, 理学療法士, 作業療法士, 歯科衛生士等を目指す学生を対象にした解剖学標本示説実習を実施しています。教科書だけでは学び得ない人体の精緻な構造を解剖体や臓器標本から理解するとともに, 「生と死」, 「献体の意義」などを考える機会になっています。教員スタッフ一同による充実した実習を行うことで宮崎県内の医療人の育成に今後も尽力したいと考えています。

まだ教室は立ち上がったばかりですが, 生命科学を志す医師・研究者と共に宮崎の地から世界へ向けて人々の役に立つ研究成果をどんどん発信していくよう邁進して参りますので, 会員の皆様のご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。  
(菱川 善隆, 日野真一郎)

## 専 門 分 科 医 会 だ よ り ( 皮 膚 科 医 会 )



なりた ひろみ  
成田 博実 会長

前は平成23年5月号で皮膚科医会の紹介をさせてもらった。2年ぶりの皮膚科医会だよりになる。現在会員数は46名である。

例年の事業として、年3回の勉強会、年2回の機関誌皮膚科だより発行、県民啓発用ポスター作成、11月12日(いい皮膚の日)に合わせた県民向け講演会、子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業、宮日きゅんと投稿(例年2~3回)等がある。は学校側からの依頼テーマに応じた講演会なので、熱心な質疑応答がある。昨年度のテーマは、おしゃれ障害、紫外線と皮膚、アトピー性皮膚炎であった。

一番長い事業はポスターづくりだ。皮膚科啓発活動の一環として、平成2年(1990年)からポスター製作をしている。毎年1枚ずつ作り始めて、今年で2枚目。昨年度のテーマは「みずいぼ」を選んだ。昨年4月の日本臨床皮膚科医会(以下日臨皮)学術大会(福岡市)では、主催者のご厚意でポスター全2枚を展示することができ、好評を博した。会員の発案でポスターの販売(1枚1,000円)も行い、12枚が売れた。ポスターのことをDermatology Todayという雑誌に掲載してもらったら、岩手県宮古市の先生から購入依頼があった。東北から元気をもらった。

昨年度の会員実績について、報告したい。外山望先生が宮崎県医師会医学会誌に投稿した、「本邦における带状疱疹の大規模疫学調査」で、宮崎

県医師会医学特別賞を受賞した。今年から発症部位、水痘罹患年齢の項目を追加して、疫学調査を継続中で、ライフワークとしての執念を感じる。世界に発信できるたくさんの新知見が期待できる。

一昨年、日臨皮学術大会が大阪であり、ポスター展示で田尻明彦先生の『お茶石けん』による感作が原因と考えられる小麦依存性運動誘発アナフィラキシー・蕁麻疹の18例』が金賞に輝いた。田尻先生の日臨皮への働きかけが厚労省を動かし、お茶石けんの回収に繋がった。先般届いた日本アレルギー学会の集計では確定診断できた全国症例は1,769人だった。この出来事は、経皮感作の存在を証明した。小麦感作が皮膚を介しておこり、経口摂取でアナフィラキシーまで引き起こした。スキンバリアー機能の重要性を教えてくれた。食物アレルギーのガイドライン変更にも貢献した、エポックメイキングな事件だった。今年度の勉強会では、2回に分けてこの食物アレルギーの講演を予定している。演者は、6月1日が国立病院機構熊本医療センター小児科緒方美佳先生、9月28日が国立病院機構福岡病院小児科柴田瑠美子先生である。皮膚科以外の先生方も参加してほしい。詳細は日州医事の講演会予定欄をご参照下さい。

最後にあとひとつ。「口蹄疫対策作業で発病した皮膚病変について」という小生の拙文を学会誌に掲載できた(西日本皮膚科75 58-64, 2013)。会員が経験した50症例を纏めた。宮崎県の畜産業界は昨年和牛日本一に輝き、復興しつつある。同慶の至りだ。(成田 博実)

## 薬事情報センターだより (311)

## 新薬紹介(その61)

今回は2月に薬価収載された経口FXa阻害剤エリキュース錠2.5mg・5mg(一般名 アピキサバン)とドパミン作動性パーキンソン病治療剤・レストレスレッグス症候群治療剤ニュープロパッチ2.25mg・4.5mg・9mg・13.5mg(一般名 ロチゴチン)について紹介いたします。

エリキュース錠2.5mg・5mg(一般名 アピキサバン)

エリキュース錠は、米国プリストル・マイヤーズスクイブ社と米国ファイザー社によって共同開発された血液凝固活性第 因子(FXa)を可逆的に阻害する経口抗凝固薬です。FXaに対して高い親和性と選択性を有し、強力かつ可逆的に直接阻害し、プロトロンビンからトロンビンへの変換を抑制することによってトロンビン産生を減少させ、直接的な抗血液凝固作用及び間接的な抗血小板作用を示し、抗血栓作用を発揮します。

非弁膜症性心房細動を対象とした日本人を含む国際共同第 相臨床試験(ARISTOTLE アリストテレス試験)において、有効性(脳卒中または全身性塞栓症の初回発現までの期間、全死亡までの期間)及び安全性(出血性イベント(ISTH基準の大出血))の双方で、対照薬に対する優越性が示され、サブグループ間での傾向に差は認められませんでした。

エリキュースの「非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制」の適応での承認は、2012年11月の欧州連合(EU)で最初に承認されて以来、同年12月にカナダ、米国などでも承認されました。本邦でも、同年12月に承認され、2013年2月に発売されました。

非弁膜症性心房細動患者を対象とした第 相国際共同試験において、日本人339例中169例に本剤が投与され、副作用が報告された症例は45例(28.1%)でした。主な副作用は、鼻出血11例(6.6%)、皮下出血8例(5.0%)等でした。また、重大な副作用として、頭蓋内出血(頻度不明)、消化管出血(0.9%)、眼球内出血(0.6%)等の出血が報告されています。

ニュープロパッチ2.25mg・4.5mg・9mg・13.5mg(一般名:ロチゴチン)

ニュープロパッチは、ドイツのSchwarz Pharma社(現UCB社)で開発された、非麦角系構造を有するドパミン受容体作動薬の経皮吸収型製剤(貼付剤)です。1日1回貼付することで、24時間安定した血中濃度が維持され、1日を通して安定的な効果の持続が期待されます。ロチゴチンは、すべてのドパミン受容体(D<sub>1</sub>~D<sub>5</sub>)に対してアゴニスト活性を有する薬剤であり、黒質線条体ドパミン神経のシナプス後膜のD<sub>2</sub>様受容体を刺激することにより、ドパミン神経系の伝達を活性化します。

本剤は、2012年9月現在、パーキンソン病を適応症として50か国以上で、特発性レストレスレッグス症候群を適応症として30か国以上で承認されています。本邦では、2012年12月に、2.25mg製剤と4.5mg製剤が「パーキンソン病、中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群(下肢静止不能症候群)」を効能・効果とし、9mg製剤と13.5mg製剤が「パーキンソン病」を効能・効果として承認され、2013年2月に発売されました。

パーキンソン病患者を対象とした国内第 相、第 相及び長期投与試験(739例)における主な副作用は、適応部位反応572例(57.0%)、悪心160例(16.0%)等でした。また、中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群患者を対象とした国内第 相、第 相及び長期投与試験(411例)における主な副作用は、適応部位反応193例(35.3%)、悪心189例(34.6%)等でした。なお、重大な副作用として、突発的睡眠、幻覚、妄想、せん妄、錯乱、悪性症候群があらわれることがあります。

## 参考資料

エリキュース錠2.5mg・5mg

ニュープロパッチ2.25mg・4.5mg・9mg・13.5mg

各添付文書・インタビューフォーム

(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)

## 各種委員会

## 医 学 会 誌 編 集 委 員 会

と き 平成 25年 3月 4日(月)

と ころ 県医師会館

上田理事より開会，協議が行われた。

掲載論文 14編からなる第 3巻第 1号のカテゴリーの検討が行われ，総説 2編，症例 4編，診療 1編，地域医療 6編，クリニカルカンファレンス 1編が決定した。

第 38巻第 1号総説の執筆依頼については，委員長へ一任することが承認された。

出席者 - 菊池委員長，河野副委員長，長友・東・後藤・黒川・山田・古川・森・植田・上園・稲津・松岡・阿南委員  
(県医) 富田副会長，上田理事，杉田課長，喜入主事

## 3月のベストセラー

1	見とこ，行っとこ，トコトコ東京	も ぐ ら	JTBパブリッシング
2	医者に殺されない47の心得	近 藤 誠	ア ス コ ム
3	株パブル勃発，円は大暴落	朝 倉 慶	幻 冬 舎
4	評価と贈与の経済学	内 田 樹 岡田斗司夫 FREEex	徳 間 書 店
5	聞く力	阿 川 佐和子	文 藝 春 秋
6	置かれた場所で咲きなさい	渡 辺 和 子	幻 冬 舎
7	知の逆転	ジェームズ・ワトソンほか 吉成真由美インタビュー・編)	N H K 出 版
8	海賊とよばれた男(上)(下)	百 田 尚 樹	講 談 社
9	一路(上)(下)	浅 田 次 郎	中央公論新社
10	桜ほうさら	宮 部 み ゆ き	P H P 研 究 所

## 宮崎県医師会創立 124周年記念医学会

と き 平成 25年 2月 25日(月)

ところ 県医師会館

開会に先立ち、医神祭を執り行った。

稲倉県医師会長挨拶(要旨)

本日は、創立 124周年記念医学会にご出席賜り心より御礼申し上げます。

せっかくの機会なので、本会の創立期の歴史と医神祭について少し説明したいと思う。記録によると、明治 22年 2月 25日に宮崎県会議事堂で 4日間に亘り第 1回目の連合医会総会が開催されたとのことである。当時としては驚異的なことと思われる。その後、宮崎県連合医会は宮崎県医師会と改称、新設され受け継がれてきたが、平成 24年 4月には公益社団法人宮崎県医師会となり、新たな歴史を刻んだところである。

また、本会の医神像は、大国主(オオクニヌシ)の別名、大穴牟遲神(オオナムチノカミ)である。大穴牟遲神(オオナムチノカミ)は、因幡の白兔の話で有名である。また、大国主の別名である大己貴命(オオナムチノミコト)が、古事記や日本書紀において、医術を持って人々を救済したとされており、そのため医神として祀られるようになったのではないかと想像される。

本日はこの後、県医師会医学賞贈呈式、医学賞講演、宮崎大学医学部救急・災害医学分野教授の落合秀信先生の特別講演が予定されている。最後までご静聴をよろしくお願ひしたい、との挨拶があった。

県医師会医学賞贈呈

上田理事から、12月 1日に開催された医学賞選考委員会において、宮崎県医師会医学会誌第 35巻第 1号及び第 2号の論文の中より、伊井敏彦先生他の「当院における肺結核診療の現状」が医学賞に、また、外山望先生の「本邦における帯状疱疹の大規模疫学調査」は、総説であることから医学賞としての推薦は見送ったが、臨床研究としての内容の素晴らしさから医学特別賞として推薦され、全理事協議会で決定された旨の説明があり、その後、伊井先生と外山先生に稲倉会長から表彰状と賞金が贈呈された。

医学賞講演

上田理事の座長により、今回医学賞を受賞された伊井敏彦先生と医学特別賞を受賞された外山望先生に、受賞論文の概要をご講演いただいた。

特別講演

稲倉会長の座長により、宮崎大学医学部救急・災害医学分野教授の落合秀信先生に「病院前診療と災害医療」と題してご講演いただいた。東日本大震災を具体例とした分かりやすい講演で、有意義な医学会であった。

## 平成 24年度日本医師会医療情報システム協議会

と き 平成 25年 2月 9日(土)・10日(日)

ところ 日本医師会館

「ITで紡ぐ医療連携」をメインテーマとして、日医石川常任理事の総合司会により2日間にわたり開催された。

挨拶

日医横倉会長(中川副会長代読)

日医は今節を「医療連携IT化元年」と位置付けており、本協議会では、ITによる地域医療連携により患者さんが便利でよい治療を受けることができるようになった事例を紹介するとともに、ITを使った地域医療連携の現状を報告する。ITによる地域医療連携の現状、事業を維持するための費用を出す仕組みについても議論し、今後の地域医療連携を推進する際に参考にさせていただきたい。また、日医では、ORCAプロジェクトや認証局をはじめとする医療のIT化について積極的に取り組んでおり、本協議会でも、「ORCAと認証局」について報告し、先生方との相互理解を深めていきたいと考えている。

運営委員会委員長 嘉数宮城県医師会会長

地域医療福祉連携ネットワークの構築は医師会で真剣に取り組まなければならない事業である。本協議会において、活発な議論をしていただき、地域医療、地域包括ケアをITで紡ぎ、ネットワークとして進展することを願っている。

2月9日については以下のとおり開催された。  
シンポジウム 「医師会データの保存管理の在り方について」

1. 「鹿児島県医師会におけるレンタルサーバー障害による影響および復旧対応の報告」

鹿児島県医師会医療情報システム担当理事

松本 滋

2. 「ファーストサーバー社の障害発生被害を受けての教訓

～データの外部保存における留意点～」

兵庫県医師会

安慶名 正樹

3. 「データ保存の法務」

日医総研主席研究員・弁護士 尾崎 孝良

パネルディスカッション

シンポジウム 「ORCAと認証局」

1. 「ORCAの現状と今後」

日医総研主席研究員

上野 智明

2. 「認証局の問題点」

医療IT委員会副委員長・愛媛県医師会常任理事

佐伯 光義

3. 「日医認証局の現状と今後について」

日医総研主任研究員

矢野 一博

【指定発言】HPKIと晴れやかネット

川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部医療情報学科 准教授 秋山 祐治

【指定発言】日医認証局を利用した熊本大学病院の電子カルテ閲覧システムについて

熊本大学医学部附属病院

医療情報経営企画部教授・部長

宇宿 巧市郎

【指定発言】まめネットにおける日医認証局利用について～しまね医療情報ネットワーク～

島根県医師会常任理事

児玉 和夫

総 括 医療 IT 委員会委員長・

岐阜県医師会副会長 川出 靖彦

2月1日については以下のとおり開催された。

挨拶

日医横倉会長

日医執行部は発足以来一貫して、「地域医療の再興」を最重要課題としており、地域の医療・介護・福祉を見据えて切れ目のない医療介護の提供体制の構築が地域医療の基本と考えている。そこで、それぞれの地域で医師会を中心とした地域医療連携ネットワークの構築を提唱している。本協議会が、今後地域医療連携を推進していく上での大きな糧になればと思う。

シンポジウム 「レセプトデータの行方」

1. 「レセプトデータの行方 - 日本医師会の立場より - 」

日本医師会常任理事 石川 広己

2. 「適切な利活用を進めるための公的枠組みの必要性」

産業医科大学公衆衛生学教室教授  
松田 晋哉

3. 「電子レセプトから見える医療提供体制と医療動向把握の可能性」

北海道大学病院  
地域医療指導医支援センターセンター長  
藤森 研司

フリーディスカッション

シンポジウム 「医療連携について」

基調講演「ITを用いた地域医療連携の現状と未来」

東京大学大学院情報学環准教授  
山本 隆一

事例報告

1. 「ITを利用した地域医療連携の調査」結果報告

日医総研主席研究員 上野 智明

2. あじさいネットについて

長崎県医師会常任理事 牟田 幹久

3. 認知症サイバーパス～IT活用による地域医療の充実に向けて～

和歌山市医師会長 田中 章慈

4. 浪速区医師会のブルーカードシステムにおける医療連携

浪速区医師会在宅医療担当理事  
久保田 泰弘

5. みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会について

みやぎ医療情報福祉ネットワーク協議会  
事務局長  
広南病院副院長・脳神経外科部長

清水 宏明

総 括 日本医師会常任理事 石川 広己

最後に、運営委員会委員の登米宮城県医師会常任理事より、「本協議会に参加いただいている先生方は、各地のキーパーソンであると思われる。本協議会の話題を各地に持ち帰り議論を重ねていただき、指導力を発揮していただきたい」と挨拶があり閉会した。

プログラム、抄録、講演資料等が日医ホームページ メンバーズルーム

<http://www.med.or.jp/japanese/members/info/sys/2012/>

に掲載されている。

出席者 荒木常任理事、力衛主事

## 医師国保組合だより

## 医師国保創立55年記念誌作成のための資料提供のお願い

宮崎県医師国民健康保険組合

理事長 秦 喜八郎

拝啓 先生方におかれましては、ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、宮崎県医師国民健康保険組合は、来年度に創立55年を迎えます。これに際し、記念誌を  
発刊いたしたく準備を進めているところでございます。

半世紀以上に及ぶため、より内容の深い記念誌を作成するべく、幅広く資料を集めたいと考え  
ております。

つきましては、医師国保に関する写真や文書、記録等、当時の様子を振り返る資料であれば何  
でも結構です。組合員の先生方に拘らず、資料をお持ちの先生方にご提供をお願いいたし  
たく存じます。

なお、資料は郵送いただくか、場合によってはお伺いしてお預かりしたいと思います。ご提供  
いただける物がございましたら、前もってご一報頂ければ幸いです。

次の50年に向けての財産として、この記念誌を残したいと考えております。

是非とも資料提供のご協力をよろしくお願い申し上げます。

敬具

## 【資料送付・お問合せ先】

## 宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

公益社団法人 宮崎県医師会内

TEL 0985-22-6588 FAX 0985-27-6550

## 医師国保組合だより

組合員 各位

平成 25年度の保険料賦課について( 通知 )

平素は当組合事業運営にご協力賜り，誠にありがとうございます。  
医師国保の保険料につきましては，平成 25年 4月から下記のとおり賦課することとなりましたので，ご通知申し上げます。  
なお，保険料額は前年と同様です。

## 記

## A 会員組合員( 75歳未満組合員 )【月額】

保 険 料	内 訳	
	医療保険料	後期高齢者支援金保険料
36,000円	35,000円	1,000円

## B 会員組合員( 75歳未満組合員 )【月額】

保 険 料	内 訳	
	医療保険料	後期高齢者支援金保険料
26,000円	25,000円	1,000円

## 家 族【月額】

保 険 料	内 訳	
	医療保険料	後期高齢者支援金保険料
4,500円	3,500円	1,000円

## 従業員【月額】

保 険 料	内 訳	
	医療保険料	後期高齢者支援金保険料
6,000円	5,000円	1,000円

## 高齢組合員( 75歳以上組合員 )【月額】

3,000円

## 介護保険料( 40歳以上 65歳未満の被保険者 )【月額】

2,500円

## 保険料減額措置について

下記の条件を満たす場合，減額措置を行います。

前々年分の総収入金額が5,000万円未満で，かつ課税所得金額が2,000万円未満の場合に，組合員の申請により保険料を減額する。

### 《 保険料減額措置を希望される場合の提出書類 》

平成 25年度保険料減額申請書

平成 25年分の総収入金額及び課税所得金額に関する確認書類

) 確定申告された場合 下記の表をご確認の上， 印の書類を添付ください。

	第一表	第二表	第三表	第四表
確定申告書 A				
確定申告書 B				
分離課税				
損失申告				

) 給与所得のみの場合 「源泉徴収票の写し」(乙欄適用者は該当しません)

) 確定申告されなかった場合 市町村発行の「所得課税証明書」

### § 減額申請は随時受け付けております §

減額申請書の提出は平成 25年 3月末日でお願いしておりますが，申請は随時受け付けております。

その際の保険料は，当組合が受理した日の翌月から減額となります。

### 「 保 険 料 減 額 表 」

区分	課税所得額	月額保険料	
		A 会員組合員	B 会員組合員
1	1,700万円以上 2,000万円未満	33,000円	23,000円
2	1,500万円以上 1,700万円未満	30,000円	20,000円
3	1,300万円以上 1,500万円未満	27,000円	18,000円
4	1,000万円以上 1,300万円未満	25,000円	16,000円
5	800万円以上 1,000万円未満	23,000円	15,000円
6	600万円以上 800万円未満	20,000円	14,000円
7	400万円以上 600万円未満	17,000円	13,000円
8	200万円以上 400万円未満	15,000円	12,000円
9	100万円以上 200万円未満	13,000円	10,000円
10	50万円以上 100万円未満	10,000円	8,000円
11	50万円未満	5,000円	5,000円

## 日医インターネットニュースから

### 羽生田氏が「医療界代表」

#### 日医連と病院団体

日本医師連盟(日医連)と病院団体の政治連盟の幹部は2月20日、東京・本駒込の日本医師会館で会見し、今夏の参院選で日医連の組織内候補として自民党から立候補する羽生田俊副委員長(日医副会長)を一致団結して支援すると表明した。民主党公認で立候補を目指していた安藤高朗氏が出馬を見送ったことを受け、羽生田氏に候補者を一本化。「医療界の代表」としてアピールした。日医連の横倉義武委員長(日医会長)は30万人以上の後援会名簿を目標に支援活動を活発化する方針を示した。

獲得目標は45万票前後

横倉委員長は19日に開いた日医連の執行委員会で、30万人以上を目標に羽生田氏の後援会名簿を集めるよう都道府県医連に要請した。20日の会見で横倉委員長は「今までの選挙を見ると、後援会名簿の集まった数の15%前後、多いときは20%、少ないときは10%が実際に投票している」と説明し、45万票前後を目標にする考えを示した。その上で「病院団体の協力ですらに上積みをして、比例代表の中で上位当選を果たすよう最大限の努力をしたい」と述べた。

今後の羽生田氏の活動方針は、3月末までに全都道府県を回り、その後は都道府県医連や郡市区医連などが開催する集会を中心に支持を訴える。日医連の今村聡副委員長(日医副会長)は「選挙までには全国を2巡したい」と述べた。

(平成25年2月22日)

### 臨床研修、「偏在解決」可能な見直しを 厚労省部会、9月にも骨格

厚生労働省の医道審議会・医師分科会医師臨床研修部会は2月21日、2015年度の臨床研修制度見直しに向けて、厚労省の「医師臨床研修制度の評価に関するワーキンググループ(WG)」が取りまとめた論点整理を基に議論を開始した。今後は月1回のペースで会合を開き、9月ごろには募集定員の設定や地域枠への対応、研修プログラムの内容など制度見直しの骨格を固める。

この日の会合では、WGが取りまとめた論点整理をたたき台にフリーディスカッションした。小川彰委員(岩手医科大理事長・学長)は、大学病院の医師派遣機能が低下して地域の医師不足が顕在化した問題や、研修医が都市部に集中する医師の地域偏在の問題などについて、10年度の臨床研修制度見直しでは解消できなかったと指摘。「今回の見直しがこうした論点を解決できるような見直しにならなければ意味がない」と述

べた。神野正博委員(社会医療法人財団董仙会理事長)も「前回の見直しの評価をきちっとした上で議論を進めていく必要がある」と述べた。

(平成25年2月26日)

### 医師の税引き前月額給与79万円

#### 厚労省・12年賃金調査

厚生労働省が2月2日に公表した「2012年賃金構造基本統計調査」結果によると、役職のない勤務医の月額給与(所定内給与額、12年6月分)は79万9,300円(平均41.2歳)で、1年調査の76万7,000円(同39.6歳)から2万2,300円増加した。

調査は10人以上の常用労働者を雇うする民営事業所を対象に、12年6月分の賃金について調べた。ここでいう医師は、医学教育者や医学研究者、歯科医師は含まれておらず、役職のない勤務医だけが対象になっている。所定内給与額とは、超過労働給与額、時間外勤務手当、深夜勤務手当、休日出勤手当、宿日直手当、交代手当を差し引いた現金給与額で、所得税などを控除する前の額。

月額所定内給与額を施設規模別に見ると、99人以下の「小規模施設」は13万7,200円(同56.0歳)、100~999人の「中規模施設」は94万9,800円(同43.0歳)、1,000人以上の「大規模施設」は55万3,500円(同37.2歳)となり、規模が小さいほど高い結果となった。

男女差は15万4,800円

男女別に見ると、男性医師は83万1,300円(同42.6歳)で前年の80万4,700円(同40.5歳)から2万6,600円増加した。女性医師は6万6,500円(同37.6歳)で前年の66万8,800円(同37.6歳)から7,700円増加し、男女差は15万4,800円となった。

(平成25年2月26日)

### 診療関連死全件を第三者機関へ報告 医療事故調検討部会で一致

厚生労働省の「医療事故に係る調査の仕組み等のあり方に関する検討部会」(座長=山本和彦・一橋大学院教授)は3月22日、診療行為に関連した死亡事例(診療関連死)を調査する体制や、診療関連死を調査する体制の独立性・中立性・透明性・専門性を担保するための第三者機関の在り方などについて議論した。原因究明と再発防止を目的に診療関連死全件を第三者機関に届け出ることや、院内調査を前提とする調査体制については意見が一致した。一方、院内調査に院外から中立的な第三者がメンバーとして入る是非や、第三者機関に意見聴取や診療録を提出させる権限を付与するかどうかについては意見が分かれた。

院内調査への第三者の参加については、院外を含めた医療者を中心にすべきとする意見と、できる限り中立的な第三者の参加を求める意見が対立している。

有賀徹構成員(昭和大病院長)は「隣の病院から来て手術をやるのもある意味では第三者」との見方を示し、日常の医療提供と同様に、診療関連死の調査についても医療者・医療機関同士が助け合うのが前提とした。その上で、都道府県の医師会がコーディネーター役となることも含め、地域での支援体制を整備していくべきとの考えを示した。

この意見に対し高杉敬久構成員(日本医師会常任理事)は「中小病院も含めて都道府県医師会がサポートしながら、公平なものをつくっていくべき」と賛意を示し、「地域での調査に限界がある場合に第三者機関で検証することが考えられる」と述べた。

中央の第三者機関に持たせる権限については、弁護士・患者側の構成員が、強制的にカルテの提出や意見聴取を求めることができるようにすべきとしているのに対し、医療提供側構成員は、第三者機関の調査に協力しないような医療機関は医療界で生きていけないとし、強制的な権限まで付与する必要はないとした。

(平成25年3月26日)

### 8%時の対応、「基金方式」に反対 消費税分科会

中医協「医療機関等における消費税負担に関する分科会」(分科会長=田中滋・慶応大大学院教授)で、消費税率8%への引き上げ時の対応について議論が進んだ。5か月ぶりに再開した3月18日の分科会では2014年4月に予定される税率引き上げへの対応を議論し、医療機関の高額投資に対応するための基金を創設することについて負担増が想定される支払い側が反対したばかりでなく、診療側もデメリットの方が大きいとして反対した。

基金創設は高額投資に伴う消費税負担への対応策の一つとして厚生労働省が提案したが、反対意見が大勢を占め、実現は大きく遠のいた。今後は診療報酬の上乗せによる対応での高額投資への配慮や、上乗せを行う項目や配分が議論の焦点となりそうだ。

事務局の厚生労働省保険局医療課は分科会に対し、8%引き上げ時の対応策として「全て診療報酬で上乗せする対応」と「診療報酬の上乗せと、基金を創設し高額投資に伴う消費税負担を手当てする対応(基金方式)」の2つの案を提示した。全て診療報酬の上乗せで対応する場合は、所要額(診療報酬改定率)を算出して上乗せする項目や配分を決定することになる。この場合、15年10月予定の10%への引き上げ時に課税化が実現すれば、仕入れ税額控除が可能となるため、これまでに行った消費税上乗せ分の診療報酬は引き下げることになる。課税化された場合の対応が比較的容易であるメリットがある半面、高額投資部分を補填するには診療報酬による対応では限界があると説明した。

これに対し基金方式は、診療報酬財源の中から必要な財源をプールする基金をつくり、高額投資を行った医療機関からの申請に基づいて支給する仕組み。事務局は、保険者などの関係者に負担を求めるための法改正や、実施機関での事務処理のためのシステム構築費用が必要になると説明した。基金方式は、高額投資を行った医療機関に対する重点的な手当てが可能になるメリットがある一方、課税化が実現した場合には、わずか1年半での法改正やシステムの再構築費用などが必要になる。

今村聡委員(日本医師会副会長)は、税率引き上げは社会保障費を充実するためと理解していると「医療関係者に新たな負担が増えるようなことがあってはならない」と牽制した。限られた項目に配分するこれまでの対応については「(決定プロセスの)透明性や公平性に欠ける」と改善を求めた。

(平成25年3月26日)

このコーナーの記事は“日医インターネットニュース”から抜粋して掲載していますので、詳細を知りたい方は日本医師会ホームページをご覧ください。毎週火・金に更新していますので全ての記事が閲覧できます。

日医インターネットニュースへのアクセス方法

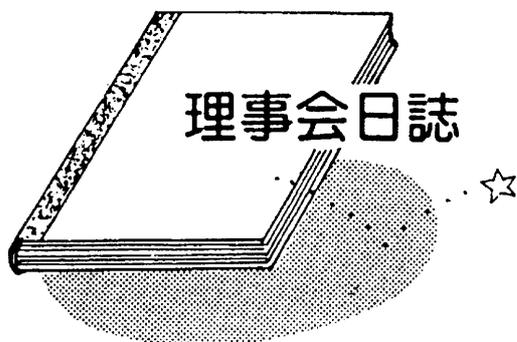
日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)にアクセス

日本医師会ホームページ右上のメンバーズルームをクリック

メンバーズルームに入る方法

ユーザー ID 会員 ID 番号(日医からの送付物の宛名シール下部に印刷されている10桁の数字)を0も含め、全て半角で入力

パスワード 先生の生年月日の6桁の数字を半角で入力  
例) 193年5月1日生まれの場合、310501



平成 25年 2月 5日(火)第 28回常任理事協議会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

#### 1. 本会外の役員等の推薦について

##### 更正医療の判定医の推薦について

更正医療は、身体障害者の障がい除去又は軽減することを目的としており、判定医の医学的判断に基づいて支給の適否を判断している。今回、現判定医から辞任の申し出があったため、新たに木許政善先生を推薦することが承認された。

#### 2. 3/3(日) (日医) 第 128回日本医師会定例代議員会並びに第 72回日本医師会定例総会の開催について

日本医師会の事業計画、予算等を審議する代議員会で、河野・富田副会長、立元常任理事の出席と故佐藤雄一日医代議員の欠員については、予備代議員の都合を確認の上、対応することが承認された。

#### 3. 3/15(金) (日医) 平成 24年度都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会の開催について

看護職員等を巡る最近の動向について報告すると共に医療関係者に関する諸問題について協議する連絡協議会で、佐々木理事の出席が承認された。

#### 4. 3/1(金) (日医) 平成 24年度臨床検査精度管理調査報告会の開催について

調査結果の分析・検討を行うことによって参加施設の質的向上に資することを目的に開催される報告会で、宮崎大学の技師長に出席していただくことが承認された。

#### 5. 3/14(木) (日医) 都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会の開催について

生涯教育推進委員会や専門医の在り方に関する検討連絡協議会等の議論を踏まえ開催される協議会で、牛谷常任理事の出席が承認された。

##### (報告事項)

#### 1. 週間報告について

#### 2. 1月末日現在の会員数について

#### 3. 1/30(火) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について

#### 4. 2/4(月) (県庁) 県医療審議会について

#### 5. 2/5(火) (県庁) 地方公務員災害補償基金支部審査会について

#### 6. 2/1(金) (日医) 日医定款・諸規程検討委員会について

#### 7. 1/3(休) (ニューウェルシティ宮崎) 九州メディカルバレー構想フォーラムについて

#### 8. 1/3(休) (エアラインホテル) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会について

#### 9. 2/4(月) (県医) 介護保険主治医研修会について

#### 10. 1/3(休) (都城) 社会保険医療担当者(医科)の新規個別指導について

#### 11. 2/5(火) (県医) 治験審査委員会について

#### 医師連盟関係

##### (議決事項)

#### 1. 2/9(土) (ホテルメリージュ) 選挙対策委員会の開催について

主に日南市長選挙の推薦に関する件を協議する委員会で、当日は、九医連等諸会議が重なっていることから、事務局対応とす

ることが承認された。

2. 「羽生田たかし後援会事務所」設置について  
法的制限(全国で250枚)により、本県で2か所の設置となることから、県医師連盟のほか、宮崎市郡医師連盟に対応を依頼することが承認された。なお、看板の設置場所については、人目に触れる機会が多いことから宮崎市郡医師会病院で調整をお願いすることとなった。

平成25年2月12日(火)第29回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について  
「日常生活自立支援事業契約締結審査会」委員の推薦について  
契約締結能力等に疑義がある場合に専門的な見地から審査を行い、利用者を援助する留意点などの助言を行うために設置された審査会で、推薦母体の県精神科医会と現委員の早稲田芳男先生の意向を確認した上で、推薦を行うことが承認された。
2. 後援・共催名義等使用許可について  
6/8(土)宮崎市民プラザ「第6回宮崎循環器市民講座」における後援のご依頼について  
循環器疾患の予防と治療の啓蒙を目的に、今回は食と心臓病をテーマに開催される市民講座で、名義後援を行うことが承認された。
3. 平成25年度健診医ならびに講師派遣のお願いについて  
宮日巡回健診事業、楽しい育児教室、マタニティ教室等の事業を行うにあたって、担当医師を委嘱することの了解を求めるもので、例年通り承認することとなった。

4. 宮崎県透析医会からの要望書について

近年の大規模災害を教訓に、大震災に備えた上水道を中心としたライフラインの確保及び災害時優先車両事前登録に関する要望があり、先進県の対応や具体的事例を参考に、県透析医会と合同で検討を行っていくことが承認された。

5. 平成24年度第2回「『2020.30』推進懇話会」について

過去2回開催された推進懇話会に参加した女性医師4名を対象に、3月7日(木)日本医師会で開催される会で、ご本人の意向を確認した上で、出席者を取りまとめることが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 2/12(火)県庁 県腎臓バンク理事会について
3. 2/9(土)福岡 医療基本法(仮称)制定に関するシンポジウムについて
4. 2/9(土)~10(日)日医 日医医療情報システム協議会について
5. 2/9(土)県医 県医医療情報システム講演会について
6. 2/9(土)市民文化ホール 自賠責保険研修会について
7. 2/11(月)鹿児島 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・講演会について
8. その他  
2/12(火)宮崎県病院局渡邊局長との面談について

平成25年2月19日(火)第30回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について  
宮崎県新人看護職員研修推進協議会委員の推薦について

新人看護職員研修事業の推進を図るため、今年度から県看護協会が設置する協議会で、牛谷常任理事を委員として推薦することが承認された。

生活保護法に基づく県本庁嘱託医等の推薦について

任期満了に伴う嘱託医の推薦依頼で、県庁の嘱託医 2名と郡部福祉事務所の嘱託医 5名、計 7名について、再任の意向が確認できたことから、引き続き嘱託医をお願いすることが承認された。

2. 2 /25日( 県医 )県医師会創立 124周年記念医学学会について

次第及び進行等の最終確認が行われた。また、既に全会員に案内を送っているが、改めて FAX 及び M M A 通信等を用いて再案内を行うことが承認された。

( 報告事項 )

1. 週間報告について
2. 2 /15日( 日医 )日医医療秘書認定試験委員会について
3. 2 /14日( 日医 )日医シンポジウム「会員の倫理・資質向上をめざして」について
4. 2 /13日( 県庁 )県周産期医療協議会について
5. 2 /17日( 日医 )日医母子保健講習会について
6. 2 /13日( 県庁 )宮崎県救急搬送受入れ対策協議会について
7. 2 /13日( 県庁 )県メディカルコントロール協議会について
8. 2 /15日( 日医 )日医総研シンポジウムについて
9. 2 /19日( 延岡 )医療機器開発 医療サービスに繋がる IT × 医療のためのネットワーク形成事業検討会議について

平成 25年 2月 26日(火)第 14回全理事協議会

医師会関係

( 議決事項 )

1. 本会外の役員等の推薦について

特定疾患治療研究専門委員候補者の推薦について

任期満了に伴う委員の推薦依頼で、神経内科及び脳神経外科領域の 2名の専門委員について、現委員の赤嶺俊彦先生、河野寛一先生を引き続き推薦することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

6 /2日(日) サンホテルフェニックス)日本リウマチ友の会( 第 53回 )全国大会後援名義の使用許可申請について

難病リウマチへの理解を広めること及びリウマチ患者の福祉の推進をはかること等を目的に開催される全国大会で、名義後援を行うことが承認された。

3. 平成 25年度宮崎県医師会事業計画について

立元常任理事から、定款第 6条で、事業計画及び収支予算は、理事会の承認、その後直近の代議員会で報告しなければならない旨の説明が行われた。その後、スケジュールの確認が行われ、昨年の事業計画を参考に案をまとめ、来週の常任理事協議会を経て、3月に開催する理事会に提出することが承認された。

4. 3 /30日( 東京 )平成 24年度全国医師会医療秘書学院連絡協議会第 3 回常任委員会並びに第 2 回運営委員会の開催について

常任委員会に富田副会長、運営委員会に富田副会長と牛谷常任理事が出席することが承認された。

5. 3・4月の行事予定について

## (報告事項)

1. 2 /18(火) (K I I E N) 宮崎大学創立 330 記念事業支援の会について
2. 2 /19(火) (日医) 日医理事会について
3. 2 /25(月) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
4. 2 /20(火) (県庁) 県健康づくり推進協議会について
5. 2 /22(木) (福岡) 九州地方社会保険医療協議会総会について
6. 2 /25(月) (県医) 創立 124 周年記念医学会について
7. 2 /21(木) (日医) 日医公衆衛生委員会について
8. 2 /20(火) (県企業局) 県公害健康被害認定審査会について
9. 2 /22(木) (県医) 特定健康診査等従事者研修会について
10. 2 /25(月) (宮大医) 県肝疾患診療連絡協議会について
11. 2 /23(土) (県医) 地域リハビリテーション研修会について
12. 2 /20(火) (県庁) 県歯科保健推進協議会について
13. 2 /22(木) (日医) 女性医師支援事業連絡協議会について
14. 2 /23(土) (佐賀) SAGAJOY シンポジウムについて
15. 2 /21(木) (JA AZM 本館) 社会保険医療担当者(医科)の個別指導について
16. 2 /23(土) (宮観ホテル) 勤務医部会理事会について
17. 2 /23(土) (宮観ホテル) 勤務医部会後期講演会について
18. 2 /14(木) (県医) 広報委員会について
19. 2 /21(木) (県医) 広報委員会について

## 医師連盟関係

## (報告事項)

1. 2 /19(火) (日医) 日医連執行委員会について

## 平成 25年 3月 5 日(火)第 3 回常任理事協議会

## 医師会関係

## (議決事項)

1. 平成 25年度宮崎県医師会事業計画(案)について  
昨年の事業計画を元に、担当役員から出された変更項目を踏まえ、重点項目及び具体的事項の最終確認が行われ、変更された案を来週の理事会に提出することが承認された。
2. 平成 25年度妊婦及び乳児健康診査並びに眼科及び耳鼻咽喉科に係る三歳児精密健康診査における審査事務費の見積りについて  
昨年と同様、1件当たりの審査事務費を 50円として、各市町村に提案することが承認された。
3. 九医連・九医学関連について  
3 /9(土) (シーガイア) 九州医師会連合会第 33 回常任委員会・九州ブロック日医代議員連絡会議について  
週末に行われる九医連関係会議のスケジュール及び進行等の最終確認が行われ、日本医師会各種委員会報告者並びに日本医師会役員の対応等について検討を行った。  
第 128 回日本医師会定例代議員会(3月 31 日)における九州ブロック代表質問・個人質問について  
日本医師会の議事運営委員会の決定事項で、各ブロックから提出する代表質問は 1 題、個人質問は 2 題となっており、事前に九州各県に照会したところ 3 題の質問が提出されたため、本県は担当県でもあることから質問は提出しないことが承認された。
4. その他  
宮崎県医師会労災部会の理事について

小牧一磨先生の急逝に伴う後任の理事について、都城市北諸県郡医師会から飯田博幸先生の推薦があった旨の報告があり承認された。今後、6月に開催される県医師会労災部会総会で最終決定される。

#### 医師会関係

##### (報告事項)

1. 2月末日現在の会員数について
2. 2/27(水) 宮崎労働局 労災診療指導委員会について
3. 2/28(木) 日医 日医死体検案研修会について
4. 2/28(木) 県医 医療安全対策セミナーについて
5. 3/3(日) 福岡)レジナビフェアについて
6. 3/2(土) 宮観ホテル)県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会総会研修会について
7. 2/27(水) 県医 日医認定産業医制度関係小委員会について
8. 3/1(金) 県医 県医スポーツドクター連盟総会について
9. 3/1(金) 県医 県医健康スポーツ医学セミナーについて
10. 3/5(火) 県医 治験審査委員会について

#### 医師連盟関係

##### (報告事項)

1. 3/2(土) 県医 日医連(九州ブロック)医政活動研究会について
2. 3/2(土) 県医 県医連執行委員会について

## 宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ



宮崎県医師会では、県医師会館で開催される講演会・研修会に参加される医師(医師会員でなくても可)のお子様を対象に本会館1階に臨時の無料託児ルームを設置いたします。県医師会が契約した保育士が対応いたします。

ご利用の場合は、事前の予約が必要となりますので、ご希望の方は開催日の2週間前までに県医師会までご連絡ください。



#### お問合せ先

宮崎県医師会

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

担当 野尻・小川

## 県 医 の 動 き

( 3 月 )

1	日医臨床検査精度管理報告会(日医) 県医スポーツドクター連盟総会(河野副会長他) 県医健康スポーツ医学セミナー(河野副会長他) 医師国保理事会(秦理事長他)	18	宮大経営協議会(会長) 県防災会議(古賀常任理事) 県産業保健連絡協議会等(会長他)
2	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事 会総会研修会(石川常任理事) 県医連執行委員会(会長他) 日医連九州ブロック医政活動研究会(会長他) 病院部会・医療法人部会合同医療従事者研修会 各都市内科医会会長	19	日医理事会(日医)会長) 医協打合会(立元常任理事) 治験理事会(古賀常任理事他) 第32回常任理事協議会(河野副会長他)
2 3	県産婦人科病医院従事者研修会ひむかセミナー (濱田常任理事)	20	(春分の日) 医師国保歩こう会
3	レジナビフェア(福岡)古賀常任理事)	21	全体課長会 都道府県医師会広報担当理事連絡協議会(日医) (荒木常任理事) 県アイバンク協会理事会(会長) 県母子保健運営協議会(濱田常任理事)
4	九州ブロック初期・後期臨床研修進路説明会実 行委員会(福岡)事務局) 医学会誌編集委員会(富田副会長他)	22	県寝たきり予防推進本部会議(石川常任理事) 県訪問看護推進協議会(古賀常任理事) 広報委員会(荒木常任理事他) 糖尿病地区別小講習会 県産婦人科医会女性保健委員会(濱田常任理事)
5	治験審査委員会(富田副会長他) 第3回常任理事協議会(会長他)	23	ICLS指導者養成ワークショップ 自民党宮崎県支部連合会総務会(会長) 県医在宅医療協議会(富田副会長他) 県内科医会総会・会員発表会・特別講演会
6	医療政策シンポジウム(日医)会長他) 全国国保組合協会九州支部総会(福岡) (秦理事長他) 県産婦人科医会情報システム・広報委員会 (濱田常任理事)	24	ACLS研修会 県民健康セミナー(会長他)
7	「2020.30」推進懇話会(日医)荒木常任理事) 医師国保移動理事会(秦理事長他)	25	県障害者施策推進協議会(会長) 県地域・職域連携推進協議会(古賀常任理事) 県災害医療関係者連絡会議(古賀常任理事) 県外科医会全理事会 女性医師就労環境改善事業費補助金説明会 (会長他)
8	日医地域医療対策委員会(日医)富田副会長)	26	医協理事・運営委員合同協議会(会長他) 県地域医療支援機構代表者会議(会長他) 県健康づくり協会評議員会(富田副会長) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (河野副会長)
9	産業医研修会(実地) 九州医師協同組合連合会購買・保険部会他(福岡) 九医連常任委員会(会長) 九州ブロック日医代議員連絡会議(会長他)	27	医協理事会(会長他) 第15回全理事協議会(会長他) 地域医療再生計画協議会(会長他) 労災診療指導委員会(河野副会長) 県健康づくり協会理事会(会長他) 県産婦人科医会母体保護法指定医新規申請者講 習会
10	九医連親善ゴルフ大会(会長)	28	地域医療再生計画の打合会(会長他)
11	研修管理委員会(会長) 県准看護師試験委員会(石川常任理事他) 県産婦人科医会医療保険委員会(濱田常任理事)	29	西諸医師会臨時総会 西都市・西児湯医師会臨時総会
12	第3回理事会(会長他)	30	全医秘協常任委員会(東京)富田副会長) 全医秘協運営委員会(東京)富田副会長他)
13	支払基金幹事会(会長)	31	九州ブロック日医代議員連絡会議(日医)会長他) 日医定例代議員会・定例総会(日医)会長他)
14	都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会 (日医)牛谷常任理事) 広報委員会(富田副会長他) 県産婦人科医会全理事会(濱田常任理事)		
15	都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会 (日医)佐々木理事)		
16	産業医研修会 医師国保通常組合会(秦理事長他)		
17	臨床検査精度管理調査勉強会(事務局) 九州各県内科医会会長会議(福岡)		
18	日医在宅医療支援フォーラム(日医) (石川常任理事) 県小児科医会春季総会・学術講演会(高村先生)		

## 追 悼 の こ と ば

宮崎市郡医師会

田坂裕保 先生

(昭和 34年 8月 8日生 53歳)

弔 辞

本日ここに、故 田坂裕保先生の告別式が執り行われるにあたり、宮崎市郡医師会を代表して、謹んでお別れの言葉を申し上げます。

2月 14日午後 5時 55分、先生ご逝去との突然の悲報

に接しました。にわかには信じられず、宮崎市郡医師会会員一同、深い悲しみに包まれております。

今ここに、先生の御遺影に向かい、お別れの言葉を申し上げることになろうとは悔やまれてなりません。享年 53歳、医師として円熟の域にある先生の御活躍が今後叶わず、誠に無念であり申し上げます。奥様をはじめ御親族の皆様方のお嘆きは如何ばかりかとお察し申し上げ、ここに謹んで哀悼の意を捧げる次第でございます。

先生は、昭和 34年 8月 8日、大阪府堺市にお生まれになり、その後、東京都立川市に移られました。医学の道を志され、東京都立国分寺高等学校から宮崎医科大学に進学され、昭和 60年 3月、優秀な成績で御卒業になりました。卒後、同校の大学院に進学され、医学博士の学位を授与されておられます。平成 3年から、アメリカウイスコンシン医科大学、サウスカロライナ医科大学にご留学され、平成 6年にご帰国後、宮崎医科大学第 2 外科、県立日南病院外科、西郷村国民健康保険病院、宮崎市迫田病院、南那珂郡南郷町百瀬病院にご勤務された後、平成 19年 7月、現在地の宮崎市郡司分にクリニック草を御開業になりました。

今日まで 28年有余の歳月を、ひたすら医療現場の第一線において、昼夜の別なく献身的に診療に従事され、地域医療の充実と地域住民の健康、福祉の向上に御尽力いただきました。先生の誠実で飾り気のない、そして温かいお人柄は、地域の人々にも親しまれ、多くの患者さんから信望を集めていました。在宅医療を始めとする地域に根ざした診療活動を幅広く展開されてこられましたことは、私ども医師会員にとりまして、正に範たるものであります。

先生には、御多忙な御診療の傍ら、医師会活動にも積極的に御参加いただきました。宮崎市郡医師会看護専門学校の講師、宮崎市立木花中学校及び本郷小学校の校医として、看護師の養成、児童生徒の健康管理に多大な御貢献をいただきました。また、先生は責任感がお強く、体調を壊した後、意に沿わず宮崎市夜間急病センター外科の当直に協力できなくなったことを申し訳ないと仰られ、大変悔やんでおられました。

一方、診療を離れましては、クラシック音楽の鑑賞をご趣味とされ、ご自分でバイオリンの演奏もなされていたとお聞きしております。また、本会主催の「しののめテニス大会」にも参加され、ご活躍されておられました。

今ここに、先生の御遺影の前に立ちますと、どなたともにごやかにお話をされておられた先生のお姿が目には浮かびます。田坂先生、惜別の情つくし得ませんが、永年にわたり宮崎の地域医療にご尽力いただきました先生の御功績に深い感謝と敬意を表し、衷心よりご冥福をお祈り申し上げお別れの言葉といたします。先生、どうぞ安らかに眠りください。

平成 25年 2月 17日

宮崎市郡医師会

会長 川 名 隆 司

## 追悼のことば

南那珂医師会

百瀬 寿之 先生

(大正13年12月10日生 90歳)

弔 辞

本日ここに、故 百瀬寿之先生のご葬儀が執り行われるにあたり、南那珂医師会を代表いたしまして、謹んで哀悼の意を表し、ご霊前にお別れのお言葉を申し上げます。

先生は、昨年の10月に体調を崩され、ご入院加療を受けられていましたが、11月には退院されご自宅で療養されているとお聞きいたしましたので、一日も早いご回復を念じておりました。

先月末、毎年参加いただいている医師会総会の出欠ハガキに欠席と記されておりましたので、調子が悪いのかと危惧していた矢先に文教先生より「父の調子が良くない」とお聞きし心配しておりました。この度のご逝去は誠に痛恨の念に絶えず残念で仕方ありません。ましてやご家族ご親戚の皆様のご悲嘆は如何ばかりかとお察し申し上げ、医師会員一同衷心より哀悼の意を表する次第でございます。

先生は、昭和24年3月に九州高等医学専門学校を卒業され、昭和28年2月から昭和29年12月まで山口県船木病院に勤務され、昭和34年3月から同年7月まで久留米大学医学部脇坂外科教室講師を務められたのち、昭和39年7月までの5年間、県南地区の急性期を担う国民健康保険中部病院組合の院長として地域医療に多大な貢献をされました。

昭和39年7月に現在地で開業されてからは、

開業医として地域医療活動に献身的に取り組まれ、中でも、早くから病院専用の救急車両を導入し、重篤な患者の救命に当たられるなど、長年に亘り休日・夜間を問わず患者を受け入れ、地域住民の救急医療を支えて下さいました。

また、学校医として、日南市立榎原小と中学校及び南郷中学校の児童の健康管理と保健予防に長きに亘り献身的に取り組まれ、児童生徒の健やかな成長に多大な貢献をされました。

医師会活動にも積極的に参加、活躍をいただきました。

南那珂医師会の理事として昭和59年4月から平成4年3月までの8年間、宮崎県医師会の理事として昭和64年4月から平成4年3月までの6年間、医師会の要職を務められました。県医師会理事の間は救急医療担当理事として、昭和62年度に「宮崎県医師会災害医療計画」、平成元年度に「宮崎県の医療施設の現況と人口動態」並びに「宮崎県医師会災害医療計画」、平成3年度に「航空機事故救急医療計画」等の冊子編さんに携わられました。これらの災害医療計画等の冊子は、県民を災害から守る備えとして、現在も大変重要な資料となっております。

先生のごこのような数々のご功績により、平成23年9月に救急医療功労者として厚労大臣表彰という栄誉を受けておられます。

先生は常日頃より、穏やかな笑顔と凛とした風格があり、いわゆる英国紳士というかジェントルマンという呼称がぴったりの人でしたし、若輩な私共に対しても丁寧に対応される方でした。

これまで先生が地域住民の救急医療を支えるために、そして、地域医療の発展のために尽くしてこられたご遺志は、現在、ご子息の文教先生とご息女朱美先生が立派に受け継いでおられ

ます。

文教先生を医師会執行部役員にとお願いした際には、「息子に務まるでしょうか？足手まといになるのではないかと。また、「よろしくご指導を」ということでしたが、彼は、父の心配が杞憂であったことを実行力で示し、役務を果たしてくれました。彼の地域医療、特に、救急医療に対する思いは大変なもので、日夜精進されております。きっと寿之先生の思いが繋がっているのではないかと考えております。

私達会員は現在の厳しい医療制度の中にあっても地域住民の健康を第一に考えて、医師としての倫理を保ちながら、地域住民の医療・保健・

福祉の発展の為に日々の診療を行って参りたいと思いますので、どうかこれからも、天国より私達会員を見守っていただきたいと思ひます。

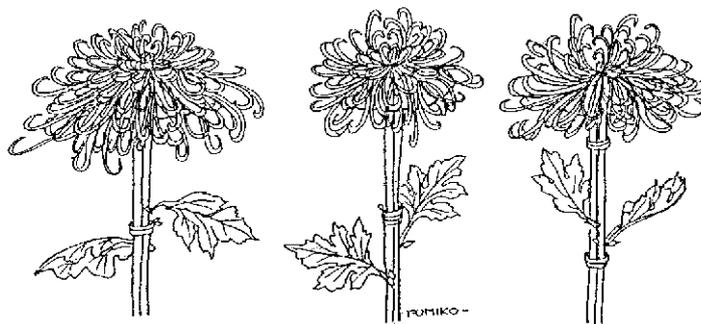
最後になりましたが、先生の永年に亘る救急医療・地域医療へのご貢献に対しまして会員一同深い尊敬と感謝の言葉を捧げますと共に、心からご冥福をお祈り申し上げ、お別れの言葉と致します。

先生どうか安らかに眠り下さい。

平成 25年 2月 15日

南那珂医師会

会長 山 元 敏 嗣



## 追悼のことば

西諸医師会

池田卓郎先生

(大正12年9月18日生 9歳)

弔 辞

本日、ここに故 池田卓郎先生の告別式が執り行われるにあたり、西諸医師会を代表致しまして、先生の御霊に謹んでお別れのことばを申し上げます。

先生は、体調を崩され病氣療養中と伺っており、ご容態を案じておりましたところ、3月9日午前9時4分ご逝去されたとの、突然の悲報に驚倒し、会員一同深い悲しみに包まれているところでございます。

会者定離、生者必滅は、世の常とは申しながら、享年9歳にして先生は、遼遠なる安息の地へと旅立ってしまわれたのであります。

私共医師会の長老として、会員が等しく尊敬申し上げます先生をここに失ったことは、誠に痛恨の極みであり、長寿を全うされたとはいえ、奥様をはじめ、ご親族の皆様のご心中如何ばかりかとお察し申し上げ、ただただ、心から哀悼の意を表する次第でございます。

思い起こせば先生は、大正12年9月18日、この世に生を享けられ、幼少にしてその才誉れ高く、長ずるに及び医学の道に志を立てられ、鹿児島医学専門学校に進まれ、昭和2年3月、ご卒業になられたのであります。

その後、幾多の研鑽を積まれますと共に、昭和3年7月には鹿児島県立療養所北薩病院長、2年後の昭和3年7月には小林市立病院長を歴任され、昭和4年5月には現在の地、小林に池田外科病院を開設されたのであります。

また、昭和5年には医療法人三和会を創設され理事長に就任をされておられ、同年には、えびの市京町に、この地で最初の温泉病院を開設されたのであります。平成8年には、現在の病院の地に脳神経外科を主体とした池田病院を開設され、その後、平成18年10月には京町温泉病院を合併し、救急病院としても、地域医療に貢献されてこられたのであります。

また、当医師会におかれましては、昭和35年4月から昭和45年3月までの10年間を理事、昭和45年4月から昭和47年3月までの2年間を副会長、昭和47年4月から昭和53年6月までの6年間は会長を務められ医師会活動にも積極的に貢献されると共に、昭和45年から昭和47年の間、小林准看護学校長として、地域医療を担う看護師の養成にも多大なるご尽力いただいたのであります。

また、宮崎県医師会代議員会議長、日本医師会代議員、宮崎県医師会病院部会長、さらには全日本病院協会副会長などの要職を務められ、当西諸地域内にとどまらずご活躍されておられたのであります。

また、学校医としても児童生徒の健康管理、保健指導にも積極的に意をそそがれ、先生の厚誠実なお人柄は地域住民にも敬愛され厚く信望を集めておられました。

また、警察医としてもご尽力され、宮崎県警察医会会長、日本警察医会理事等も歴任され、平成1年7月には警察庁長官より警察協力章を受けておられます。

さらに先生の献身的なご功績に対し平成13年11月には勲五等双光旭日章、またその他数多くの表彰を受けておられます。

また、先生はスポーツの振興にも積極的に寄与されておられ、小林市体育協会長、小林市陸

上競技協会会長などを歴任されるとともに、日本医師会スポーツ認定医として選手の健康管理にもご尽力されておられたのであります。

病床に臥されるまでの60有余年の長き歳月を外科医として、地域医療のために、身を捧げてこられたのであります。

私共、後に続くものとして、改めて深甚の敬意を表しますとともに、感謝の気持ちで一杯であります。

先生が築きあげられました池田病院は、院長の徳郎先生が、先生のご意志を引き継がれ、地域医療の担い手として、ご活躍中で、後顧の憂いもなきものと思えます。

今、医療行政は大きく変革しようとしており、

私共医師は、将来への展望が見出せない状況にあります。先生、これからは、天国で私共西諸医師会をどうぞお守り下さい。

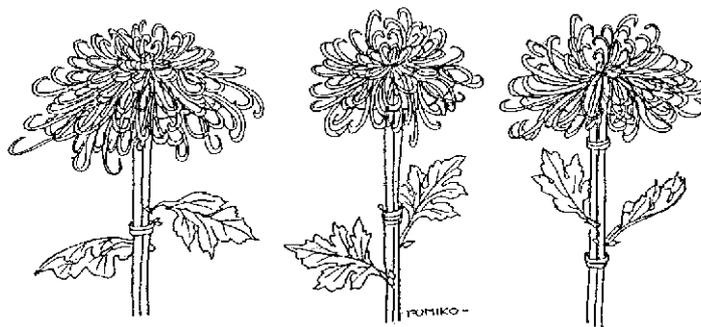
池田卓郎先生、惜別の情つくし得ませんが、ここに先生の長年に渡るご功績に対し、あらためて深甚の敬意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げ、また、私共会員一同、微力ながら地域医療の発展に努めることをお誓いし、お別れの言葉と致します。

先生、どうぞ安らかにお眠り下さい。

平成 25年 3月 11日

西諸医師会

会長 高 崎 直 哉



所得補償保険のご案内

## ドクターバンク情報

（無料職業紹介所）

平成25年3月15日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問合せは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 5人

1) 男性医師求職登録数 5人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内 科	4	2	2
外 科	1	1	0

2. 斡旋成立件数 45人

	男性医師	女性医師	合計
平成24年度	4	1	5
平成16年度から累計	33	12	45

3. 求人登録 89件 329人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内 科	101	71	30
外 科	33	24	9
整 形 外 科	25	18	7
精 神 科	22	17	5
循 環 器 科	12	12	
脳 神 経 外 科	10	9	1
消 化 器 内 科	15	13	2
麻 酔 科	7	5	2
眼 科	9	7	2
放 射 線 科	6	6	
小 児 科	6	4	2
呼 吸 器 内 科	9	8	1
リハビリテーション科	3	3	
血 液 内 科	2	2	
神 経 内 科	10	9	1
救 命 救 急 科	5	5	
健 診	5	2	3
産 婦 人 科	4	4	
泌 尿 器 科	3	2	1
検 診	2		2
皮 膚 科	3	2	1
人 工 透 析	1	1	
耳 鼻 咽 喉 科	2	2	
そ の 他	34	30	4
合 計	329	256	73

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
150005	医)わか会ピア・メンタル ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
160011	赤十字血液センター	宮崎市	検診	2	非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳整放麻内	9	常勤・非常勤
160017	医)prestピア プレストピアなんば病院	宮崎市	乳腺内	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精内	2	常勤
160031	医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼神内,眼,耳,総診,呼外, 循臨病	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	内精	3	非常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	消内内泌糖内呼リウマチ, 神経内,健診	6	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内眼	2	常勤
170052	医)春光会	宮崎市	外内	6	常勤・非常勤
180061	医)あいクリニック	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内神内整	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内	3	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内外	7	常勤・非常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
190096	医)晴緑会 宮崎医療センター病院	宮崎市	消化麻循リハビリ	5	常勤・非常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内外救急呼外婦人	7	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	内外放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮崎市	内外整	12	常勤・非常勤
220126	八代医院	宮崎市	内	1	非常勤
230128	医)真愛会 高宮病院	宮崎市	内	1	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設サンフローラみやざき	国富町	内外	2	常勤
230140	医)将優会 クリニックうしたに	宮崎市	外内整家庭医総合臨床	1	常勤
240141	医)博愛社 佐土原病院	宮崎市	内	1	非常勤
240143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮崎市	脳外内	2	常勤
240144	宮崎生協病院	宮崎市	総内呼吸内消化器内, 健診	8	常勤・非常勤
160008	医)正立会 黒松病院	都城市	内泌	2	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内消内整神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	内救急放射脳外外, 総合眼透内	8	常勤
170042	医)豊栄会 豊栄クリニック	都城市	内老内精	3	常勤
170056	医)社団アブラハムクラブ ベテスタクリニック	都城市	循内脳外呼神内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内外整	3	常勤
180064	国立病院機構都城病院	都城市	消内血内循内脳産婦, 耳鼻	9	常勤
180069	社)八日会 大悟病院	三股町	精内	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
180081	医)恵心会 永田病院	都 城 市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内呼	4	常勤
190093	社)八日会 藤元早鈴病院検診センター	都 城 市	内	2	常勤・非常勤
210113	医)邦楽会 河村医院	都 城 市	内	1	常勤
210114	社)八日会 藤元病院	都 城 市	精	2	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	外,内,麻	9	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都 城 市	不問	1	常勤
230135	医)廣師会 信愛医院	都 城 市	内	1	常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
240142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内,リハビリ	2	常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外,整,皮,放,内,消外	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	2	常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	外,内,緩ケア	6	常勤・非常勤
160036	医)久康会 平田東九州病院	延 岡 市	内,外,麻,精,神,内,脳,神経, 老,施,心,内	5	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
210112	医)嘉祥会 岡村病院	延 岡 市	内	3	常勤・非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,内,整,神,内	6	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内	3	常勤
230130	医)ラポール向洋	日 向 市	内	1	常勤
230131	医)向洋会 協和病院	日 向 市	内	1	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内,放,外,小	4	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整,内,心,内,眼,健診,循,脳	16	常勤・非常勤
170058	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼,循,消,内,外	8	常勤
180077	医)聖山会 川南病院	川 南 町	眼,麻,脳	13	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内,外	2	常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	1	常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	精,内,外	4	常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内,消,内,神,内	3	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	4	常勤・非常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,神,内,整,リハビリ	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	腎,内	1	常勤
220124	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
230129	医)秀英会 英医院	串 間 市	内	1	常勤
230138	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
160019	医)湘愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,整,皮膚	5	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	循,救,急,産,婦,放,小	10	常勤
180076	医)友愛会 園田病院	小 林 市	外,内,整	7	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	2	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内	4	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国保病院	五ヶ瀬町	整	1	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,神,内,循,内	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,整	2	非常勤

## 病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 25年 3月 15日現在

1 . 譲渡物件	宮崎市阿波岐ヶ原町前田 2633番 ,2634番 土地のみ : 593.57坪( 2022.17㎡)
2 . 賃貸物件	宮崎市曾師町 209-3( 旧 田川内科医院跡地 ) 建物 : 鉄筋コンクリート造 2 階建 1 階 183.35㎡ , 2 階 166.69㎡ 駐車場 : 10台分
	延岡市大門町 188-1( 旧 白坂内科医院跡地 ) 建物 : 鉄筋造平屋建 205㎡ 駐車場 : 10台分

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

- 1 . 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
- 2 . 紹介受付は，月～金の午前 9 時から 12時及び 13時から 17時です。
- 3 . 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
- 4 . ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
- 5 . 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
- 6 . 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

**ドクターバンク無料職業紹介所**

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10番地( 宮崎県医師協同組合 )

0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail : isikyoku@m iyazakim ed.or.jp

### 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 25年 3月 26日現在

4		月			
1	月	17	水	14 00 (日医)医療基本法(仮称)に関する都道府県医師会担当理事連絡協議会	国 保 審 査 社 保 審 査
2	火	18	木	14 00 (日医)日医理事会 18 00 治験審査委員会 19 00 第1回常任理事協議会	
3	水	19	金	13 00 (日医)日医定款・諸規程検討委員会	
4	木	20	土	19 00 県警察医会協議会 16 00 九医連監査・事務引継 15 00 県産婦人科医会春期定時総会	
5	金	21	日		
6	土	22	月	16 00 HTLV-1母子感染対策事業従事者研修会 19 00 広報委員会	
7	日	23	火	10 30 全国医師協同組合連合会広報部会 18 15 医協理事会 19 00 第1回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会	
8	月	24	水		
9	火	25	木	19 00 第2回常任理事協議会 15 00 労災診療指導委員会 19 00 県臨床研修運営協議会	
10	水	26	金	19 00 県内科医会医療保険委員会 19 00 県外科医会全理事会 18 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会	
11	木	27	土	14 30 (日医)日医公衆衛生委員会 19 30 県産婦人科医会全理事会 16 00 日医生涯教育協力講座セミナー「心房細動と脳梗塞」 18 00 九医国保連事務引継	
12	金	28	日	19 00 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会 12 00 九州ブロック初期・後期臨床研修進路説明会	
13	土	29	月	17 00 九医連常任委員会 (昭和の日)	
14	日	30	火		
15	月			19 30 広報委員会 19 00 第4回常任理事協議会	
16	火			18 20 医協打合会 19 00 第3回常任理事協議会	

都合により、変更になることがあります。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 25年 3月 26日現在

5		月			
1	水	17	金	日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会	↑ 国 保 審 査 ↓ 社 保 審 査 ↓
2	木				
3	金			(憲法記念日)	
4	土			(みどりの日)	
5	日			(こどもの日)	
6	月	19	00	おぎゃー献金基金チャリティーコン サート	
7	火	18	00	治験審査委員会	
		19	00	第5回常任理事協議会	
8	水	19	00	県内科医会会計監査	
9	木	24	金		
10	金	25	土	九医連常任委員会 九医連定例委員総会	
11	土	14	30	産業医部会総会・研修会	
12	日	26	日		
13	月	27	月		
14	火	14	00	(日医)日医理事会	
		17	00	日医・公益社団法人移行記念祝賀会	
		19	00	第6回常任理事協議会	
15	水	28	火	18 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎 部会	
		18	15	医協理事会	
		19	00	第1回理事会	
				終了後 医協理事・運営委員合同協議会	
16	木	29	水	15 00 労災診療指導委員会	
		19	00	県内科医会理事会	
		30	木	19 00 県内科医会評議員会	
		31	金		

都合により、変更になることがあります。

## 医 学 会 ・ 講 演 会

### 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位 日本医師会生涯教育制度認定単位数, cc カリキュラムコード(当日, 参加証を交付)

がん 各種がん検診登録・指定・更新による研修会。(胃・大腸・肺・乳)

波線 専門研修会以外の産業医研修会

アンダーラインの部分は, 変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援	単 位	cc ・ が ん
延岡医学会学術講演会 4月5日(金) 19 30~ 20 45 ホテルメリージュ 延岡	予防接種の現状と課題 - 大人にも子どもにも必要なワクチン, そして接種 率向上・過誤接種防止について - 久留米大学小児科講師 津村 直幹	共催 延岡医学会 県北小児科医会 延岡内科医会 ファイザー(株) ☎ 092-281-7031	1	8 11
第32回宮崎県臨床 整形外科医会学術 講演会 4月6日(土) 16 00~ 18 30 M R T m icc	肩・肘のスポーツ障害 - 治療と予防のとりくみ 宮崎大学医学部整形外科助教 石田 康行 腰椎疲労骨折の診断と治療、そして予防へ 大場整形外科院長 大場 俊二	共催 宮崎県臨床整形外科医会 宮崎県整形外科医会 第一三共(株) ☎ 0985-23-5710	2	1 5 57 61
第3回ひむか運動 器セミナー 4月12日(金) 19 00~ 20 20 ホテルJALシティ 宮崎	関節リウマチ治療における各生物製剤評価と新規抗 TNF 製剤セルトリズマブペゴルの可能性 自治医科大学アレルギー・リウマチ科准教授 岩本 雅弘	共催 ひむか運動器セミナー アステラス製薬(株) ☎ 0985-61-1537 ユーシービージャパン(株)	1	1 61
第1回宮崎皮膚疾 患研究会 4月13日(土) 18 15~ 19 30 宮崎観光ホテル	アレルギー・腫瘍性疾患のUpdate 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 皮膚科学分野教授 久保 宜明	共催 日本皮膚科学会宮崎地方会 宮崎県皮膚科医会 協和発酵キリン(株) ☎ 0985-22-8801	1	8 26

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援	単 位	CC ・ がん
第 75 回 江南 医 療 連 携 の 会 ・ 症 例 検 討 会 4 月 18 日 (木) 19 00~ 20 30 社 会 保 険 宮 崎 江 南 病 院	大腿骨頸部骨折に対する人口骨頭置換術後，反復性 脱臼となった一例 社会保険宮崎江南病院整形外科医長 坂田 勝美 当院における過去 4 年間の上肢外傷(手・指を除く) の機能的経過について 同病院形成外科医員 梅田 基子 当院における血管造影症例の変遷 同病院放射線科主任部長 結城 康弘	主催 江南医療連携の会 (連絡先) 社会保険宮崎江南病院 ☎ 0985-51-7575	1.5	12 25
第 15 回 宮 崎 県 眼 科 医 会 講 習 会 4 月 20 日 (土) 16 00~ 19 00 ホ テ ル JA L シ ティ 宮 崎	ドライアイの今後の治療戦略 - 研究と臨床の両面から - 慶應大学医学部眼科専任講師 川北 哲也 チャレンジ涙道診療 兵庫県立塚口病院眼科部長 宮崎 千歌 参加費 3,000円(開業医・勤務医) 2,000円(公的医療機関勤務医)	主催 宮崎県眼科医会 ☎ 0985-28-1015 共催 参天製薬(株)	3	36
宮 崎 県 精 神 科 診 療 所 協 会 学 術 講 演 会 4 月 20 日 (土) 18 50~ 20 00 ホ テ ル メ リ ー ジ ュ	元気が出るピアカウンセリング 日本ピアカウンセリングネットワーク代表・ かとうクリニック(金沢市)院長 加藤 佐敏	主催 宮崎県精神科診療所協会 共催 日本イーライリリー(株) (連絡先) 細見クリニック ☎ 0985-35-1100	1	6
西 白 杵 地 区 学 術 講 演 会 4 月 23 日 (火) 18 45~ ホ テ ル 高 千 穂	アルツハイマー型認知症におけるメマンチンの有 用性 上田脳神経外科院長 上田 孝	主催 西白杵郡医師会 ☎ 0982-73-2010 共催 延岡市西白杵郡薬剤師会 第一三共(株)	1	29 69

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援	単 位	CC ・ がん
都城市北諸県郡医 師会学術講演会 4月25日(木) 19 00~ 20 30 ホテル中山荘	一般臨床家のためのパーキンソン病のみかた - 増えるパーキンソン病の患者への対応について - 鹿児島大学神経内科・老年病学講師 藤元早鈴病院神経内科 大窪 隆一	主催 都城市北諸県郡医師会 ☎ 0986-22-0711 共催 グラクソ・スミスクライン(株)	1.5	13 19 62
江南医療連携の会 特別講演会 5月18日(土) 18 15~ 20 30 社会保険宮崎江南 病院	地域医療学講座がめざすもの - これまでの3年間そしてこれからの1年間 - 宮崎大学医学部地域医療学講座教授 長田 直人 参加費 500円	主催 江南医療連携の会 共催 塩野義製薬(株) (連絡先) 社会保険宮崎江南病院 ☎ 0985-51-7575	1.5	13
宮崎市郡外科医会 5月例会 5月20日(月) 19 15~ 20 15 宮崎観光ホテル	進歩し続ける心臓血管外科手術 宮崎大学医学部循環呼吸・総合外科学教授 中村 都英	主催 宮崎市郡外科医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎ 0985-53-3434	1	9 84
第38回宮崎大腸肛 門疾患研究会 - 老健法の研修指 定に基づく大腸癌 研修会 - 5月24日(金) 19 00~ 20 30 県医師会館	排便の生理と病理 - 術後の病態から考える - 潤和会記念病院外科部長 佛坂 正幸	共催 宮崎大腸肛門疾患研究会 武田薬品工業(株) ☎ 0985-24-6763 天藤製薬(株)	1.5	54 55

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援	単 位	CC ・ がん
第 16回国際個別化 医療学会学術集会 5月 25日(土) 9 00~ 16 15 個別化医療振興 財団	メインテーマ：パーソナライズド・メディシンの 実践 - アレルギー・がん・認知症の治療戦略 - 個別化医療における機能性食品の役割 国際食品機能学会 細川 淳一 日本の医療・薬事行政と自由診療 食の効能普及全国会議 中嶋 茂 認知症医療の課題と対策 鳥取大学医学部保健学科生体制御学 浦上 克哉 喘息・アレルギーにおける個別化医療の開発と実践 岐阜大学小児病態学 近藤 直実 個別化医療における病理学と病理診断学の役割 宮崎大学医学部腫瘍・再生病態学分野 片岡 寛章 参加費 10,000円( 会員・事前登録 8,000円 ) 12,000円( 非会員・事前登録 10,000円 ) 3,000円( 学生会員・事前登録 2,000円 )	主催 国際個別化医療学会 ☎ 03-5212-5639	5	2 5 8 9 11 15 82 83
第 122回宮崎県皮 膚科懇話会 第 5 回日臨皮宮崎 県支部会 6月 1日(土) 18 00~ 19 00 県立宮崎病院	食物アレルギー(仮) 国立病院機構熊本医療センター小児科 緒方 美佳	主催 宮崎県皮膚科医会 (連絡先) たじり皮膚科医院 ☎ 0985-84-1110	1	15
第 32回ひむか運動 器セミナー 6月 5日(水) 19 15~ 20 30 宮崎観光ホテル	腰痛診療ガイドラインに基づいた腰痛診療 - 理想と現実のギャップをどう埋めていくか - 東京大学大学院整形外科学准教授 竹下 克志	共催 ひむか運動器セミナー 昭和薬品加工(株) ☎ 03-3567-9585	1	59 60

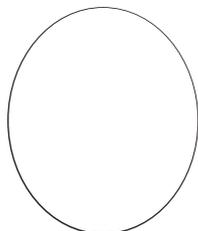
名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援	単 位	CC ・ が ん
第66回宮崎整形外科懇話会 6月15日(土) 18:00~19:00 JA A Z M ホール	股関節の instability と impingement の病態と治療 広島大学大学院医歯薬保健学研究院人工関節・ 生体材料学講座教授 安永 裕司 参加費 1,000円	主催 宮崎整形外科懇話会 宮崎県整形外科医会 大日本住友製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986	1	57 61

日本医師会生涯教育カリキュラム (2009)

カリキュラムコード(略称 CC)

1 専門職としての使命感	29 認知能の障害	57 外傷
2 継続的な学習と臨床能力の保持	30 頭痛	58 褥瘡
3 公平・公正な医療	31 めまい	59 背部痛
4 医療倫理	32 意識障害	60 腰痛
5 医師-患者関係とコミュニケーション	33 失神	61 関節痛
6 心理社会的アプローチ	34 言語障害	62 歩行障害
7 医療制度と法律	35 けいれん発作	63 四肢のしびれ
8 医療の質と安全	36 視力障害, 視野狭窄	64 肉眼的血尿
9 医療情報	37 目の充血	65 排尿障害(尿失禁・排尿困難)
10 チーム医療	38 聴覚障害	66 乏尿・尿閉
11 予防活動	39 鼻漏・鼻閉	67 多尿
12 保健活動	40 鼻出血	68 精神科領域の救急
13 地域医療	41 嘔声	69 不安
14 医療と福祉の連携	42 胸痛	70 気分の障害(うつ)
15 臨床問題解決のプロセス	43 動悸	71 流・早産および満期産
16 ショック	44 心肺停止	72 成長・発達障害
17 急性中毒	45 呼吸困難	73 慢性疾患・複合疾患の管理
18 全身倦怠感	46 咳・痰	74 高血圧症
19 身体機能の低下	47 誤嚥	75 脂質異常症
20 不眠	48 誤飲	76 糖尿病
21 食欲不振	49 嚥下困難	77 骨粗鬆症
22 体重減少・るい瘦	50 吐血・下血	78 脳血管障害後遺症
23 体重増加・肥満	51 嘔気・嘔吐	79 気管支喘息
24 浮腫	52 胸やけ	80 在宅医療
25 リンパ節腫脹	53 腹痛	81 終末期のケア
26 発疹	54 便通異常(下痢・便秘)	82 生活習慣
27 黄疸	55 肛門・会陰部痛	83 相補・代替医療(漢方医療を含む)
28 発熱	56 熱傷	84 その他

## 診療メモ



## 2012年麻疹小流行の教訓

三宅小児科医院 <sup>み</sup>三 <sup>やけ</sup>宅 <sup>かず</sup>和 <sup>あき</sup>昭

2003年、宮崎県は麻疹の大流行を経験いたしました。しかし10年を経た今では、感染症に携わる関係者の中でも、当時のことを詳細に記憶している人が、殆どいなくなってしまうました。

## 2003年の大流行の概要

前年秋、隣接した鹿児島県内の保育施設での流行に端を発した、都城市周辺及び延岡市での大流行。3月に入って、都城工業高校での集団感染を機に、県としての「麻疹全数報告」が、開始されます。

しかし、春休みの剣道大会を舞台に、感染は更に拡大。4月10日、やっと開かれた対策会議までの約1か月間に、都城172例・延岡92例もの麻疹患者が報告されていたのでした。

その後も流行の勢いは衰えず、5月に入って国立感染症研究所(感染研)の対策チームが宮崎入り。6月に入って都城保健所管内で、ワクチン未接種者千名への公費接種が始まりました。そして夏の訪れと共に、大流行はようやく終息したのでした。

全数報告が開始された3月から7月末の間に、都城保健所管内から報告された患者数だけでも、実に395例に上っていたのでした。

## 感染研の報告書に書かれた提言

麻疹の集団発生予防のためには、以下にあげる提言をもって、行政・医師会・教育関係者間

の連携と協力体制の改善に、努めるべきである。

## &lt;集団発生時の対応&gt;

検査体制の強化  
情報の把握と共有化  
全数報告

感受性者の把握と緊急接種

## &lt;集団発生を起こさないための予防策&gt;

予防接種率の底上げ

はたして、この提言は生かされたのか？

その後全国でも、麻疹は全数報告の対象となり、PCRによる検査体制も確立されました。2006年からは就学前のMRワクチン追加接種開始。さらに大学での流行を契機に、2008年からは中1・高3での接種も追加され「日本は2012年度をもって国内から麻疹を排除する」はず、だったのでした...

もう二度と、麻疹の流行をみることはないだろう。そんな楽観的な気分冷や水をさしたのが、今回の小流行でした。

2012年8月末、タイから宮崎に、麻疹が持ち込まれてしまいました。

## 2012年麻疹小流行の特徴&amp;問題点

1. 発端はワクチン未接種の教員の輸入麻疹であった。
2. 小流行は成人例で始まった。
3. 居住地と勤務地を管轄する保健所が別であった。

- 4. 1例目の情報が共有されることはなかった。
- 5. 診断確定が、しばしば週末にかかった。
- 6. キー・パーソンは、すべて未接種者だった。
- 7. 1回既接種者でも、2名が発病した。
- 8. 小中学校3校で、休校措置がとられた。
- 9. 二次感染者5名・三次感染者2名、計8名で流行は終息した。

- 陰性の7例目が在籍していた中学校の休校は必要だったのでしょうか？
- 4) 週末の時間外に確定、休校の徹底が不十分  
6例目の結果が下校前に出ていたら、休校の意味を徹底できたはずです。保健所は夜間でも対応可能であることが、我々に周知されてはいませんでした。
- 5) 県感染症対策室からの「対策徹底を」の文書  
9月10日発信の文書が、宮崎市内の学校に届いたのは12日午後。教職員・生徒の調査が、すぐに行われた気配は皆無でした。通知を送るだけで、結果の報告を徹底しなければ現場は動きません。
- 6) 教育現場での温度差  
文書が届いても追加接種を受けた職員がゼロの学校が少なくないのが現実です。

表 患者の概要

	年代	接種歴	罹患歴	発病日	届出日	受理保健所	備考
1例目	30歳代	無	無	8/25	8/30	宮崎市	中学校教諭
2例目	30歳代	有	不明	9/7	9/7	日向	1例目の同僚
3例目	20歳代	不明	不明	9/6	9/7	宮崎市	1例目の夫
4例目	20歳代	有	不明	9/12	9/13	日向	1例目の同僚
5例目	30歳代	無	無	9/7?	9/13	宮崎市	1例目と同一病院受診
6例目	小学生	無	無	9/10	9/14	宮崎市	1例目と同一病院立寄り
7例目	中学生	無	無	9/19	9/20	宮崎市	6例目の姉
8例目	10歳代	無	無	9/20	9/25	宮崎市	6例目の姉

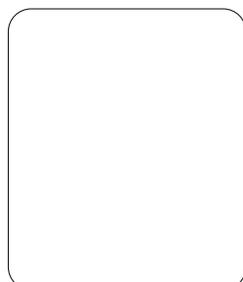
(遺伝子型はすべてD8)

- 1) 1例目発生の情報は、我々には知らされず。  
フィードバックされないとしたら、何のための全数報告なのでしょう？麻しん患者の存在を知らなければ、早期診断は極めて困難です。
- 2) 1例目確定時、緊急接種をしないとした判断は、妥当だったのか。  
既接種の同僚である、2例目と4例目の発症は防げたのではないのでしょうか？
- 3) 感染拡大予防のための休校措置は、果たしてベストの選択だったのか？  
休校中の子ども達は自宅に留まっていますでした。未接種の生徒のみの出席停止という選択肢もあったはず。当初PCR

- こうした点を、検証会議等で担当者に指摘・申し入れしてきました。しかし教職員の麻しん抗体検査を、定期健診の項目にたった一つ加えることさえ、未だ決定されていない様です。  
今回の流行が8例に留まったことを、諸手を挙げて賛美することは私にはできません。「一つ間違えば大流行になりかねない、危ない橋を綱渡りしてきた。極めて運が良かっただけ！」というのが正直な感想なのです。  
再び同じことが繰り返されないためにも、関係者間で危機感を共有し、対策を徹底することが不可欠です。麻しんは、疑った時点で保健所に報告する、全数報告の対象疾患です。しかも、『1例出たら即対応』するべき疾患です。  
我々もまた、麻しんが過去の病気ではないことを、肝に銘じるべきでしょう。

エーザイ(株) ルネスタ

## 私 の 本



宮崎市  
おお つか のぶ あき  
大 塚 伸 昭

# わかりやすい病気の話 & 人体解剖・薬の基礎知識

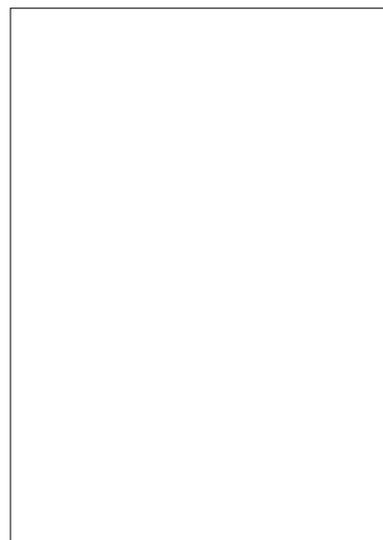
印 刷 宮 崎 紙 工 印 刷  
非 売 品

昨年、上記タイトルの著書を自費出版し、宮崎大学医学部第1内科の先生方等に約30部贈呈しました。高血圧、糖尿病、脳卒中など頻度の高い疾患から順に解説しています。その他の疾患として狭心症や心筋梗塞、甲状腺、高尿酸血症や脂質異常など多くの疾患をわかりやすく解説しました。また、解剖や薬の基礎的な知識や作用機序についても解説しています。500頁を超す大作となりました。

初版は、一般の方向けに理解していただくために、出来るだけわかりやすく記載しました。第2版は、記載した内容に医学専門知識を追加して看護師などコメディカルの方にも大いに参考になる内容になっています。イラストを多用した事やカラー多色刷りのため、贈呈した先生方からは「わかりやすく参考になる」と大変好評でした。

宮崎県医師会、宮崎市郡医師会、県立看護大学等にも一冊贈呈していますので、興味のある先生方は是非御覧いただきたいと思います。また、今回この本の内容を多くの先生方に知っていただきたいと思い、HP「大塚先生の診察室」(<http://nootsuka.net>)を立ち上げ、その中にPDFファイルの形で本の内容を挿入しました。記載内容には一切制限を掛けていませんし、著作権も全く行使しませんので(笑)、大いに活用していただければ幸いです。診察室などでの患者さんの説明などにも参考になるよう、平易な言葉と前述のようにわかりやすいイラストも多用していますので印刷すれば、患者教育用としても利用出来るかと思います。

今回の本の出版は「還暦記念出版」と銘打ってみました。こういった一般向け、或いはコメディカルの方々向けに本を執筆する事は、自分自身の知識の整理にも役立ちますので、先生方も是非一度試みられる事を勧めます。



## お知らせ

県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。また、M M A 通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時ご案内しておりますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

会員専用ページへのアクセス方法

宮崎県医師会 ([http //w w w m iyazaki.m ed .or .jp /](http://www.miyazaki.med.or.jp/)) にアクセス

県医師会ホームページ右下の「会員専用ページ」をクリック

ユーザー名 医籍登録番号を入力

パスワード 生年月日(西暦の下二桁と月日)を入力(初期設定)

例) 1950年 11月 2日生まれの場合、501102

M M A 通信への登録をご希望の方は、県医師会地域医療課までご連絡ください

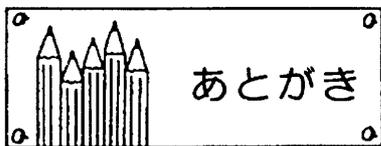
(TEL 0985-22-5118)。

送付日	文 書 名
2月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康増進事業に基づく肝炎ウイルス検診等の実施について」の一部改正について</li> <li>・風しん抗体検査(HI検査)に関する取り扱いについて</li> <li>・刑務共済組合員証の無効について(通知)</li> <li>・総務省取りまとめによる「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」(平成24年版)の送付について</li> <li>・「医療対話推進者の業務指針及び養成のための研修プログラム作成指針 - 説明と対話の文化の醸成のために - 」の送付について(通知)</li> <li>・医療事故情報収集等事業「医療安全情報 74」の提供について(通知)</li> </ul>
2月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の国内での確認状況について(その2, 3)</li> </ul>
3月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令の一部を改正する政令の施行等について</li> <li>・社会福祉施設等における防火安全体制の徹底について</li> <li>・「先天性風しん症候群の発症予防等を含む風しん対策の一層の徹底について(情報提供及び依頼)」の一部改正について</li> </ul>
3月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「先天性風しん症候群の発生予防等を含む風しん対策の一層の徹底について」の一部改正について</li> <li>・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等の一部改正について(通知)</li> <li>・「宮崎県感染症発生動向調査事業実施要項」の一部改正について</li> <li>・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令の一部を改正する政令等の施行について(通知)</li> <li>・障害者自立支援法等の下での介護福祉士等による喫煙吸引等の対価に係る医療費控除の取扱いについて</li> </ul>
3月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度地域がん登録モデル事業(平成25年度院内がん登録実務者等研修費の助成)について</li> </ul>

送付日	文 書 名
3 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療法人の設立認可等に係る医療審議会の開催時期等について(通知)</li> <li>・公知申請に係る事前評価が終了し,薬事法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて</li> <li>・「ヘリコバクター・ピロリ感染の診断及び治療に関する取扱いについて」の一部改正等について</li> <li>・「70歳代前半の被保険者等に係る一部負担金等の軽減特例措置実施要綱」の一部改正について</li> <li>・重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の検査について</li> <li>・「地域における介護労働懇談会への参加等に係る協力依頼について」の送付について</li> </ul>
3 月 11 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠初期の風しん抗体検査を EIA 法で行う場合の取り扱いについて</li> <li>・地域医療再生基金(平成 24 年度第一次補正予算)の活用について</li> </ul>
3 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻しん風しんの第 2 期・第 3 期・第 4 期の予防接種における未接種者に対する積極的な勧奨等について</li> <li>・予防接種後健康状況調査の実施について</li> <li>・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行等について</li> <li>・「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 12 条第 1 項及び第 14 条第 2 項に基づく届出の基準等について」の一部改正について</li> </ul>
3 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人を発病させるおそれがほとんどないものとして厚生労働大臣が指定する病原体等の一部を改正する件」及び「厚生労働大臣が定める安全キャビネット等の規格の一部を改正する件」の公布について</li> <li>・重症熱性血小板減少症候群(SFTS)のウイルス検査キットの配布について</li> <li>・重症熱性血小板減少症候群(SFTS)患者の国内での確認状況について(その 4)</li> <li>・共済組合員証の無効通知について</li> </ul>
3 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診等データの電子化フリーソフトにおける平成 25 年度以降の改正対応の公開について</li> </ul>
3 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 25 年度上半期におけるセーフティネット保証 5 号の業種指定の取扱等について</li> </ul>

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
c	a	b	a, e	d	c	c	d	d	a



「再受験生」という言葉をご存知でしょうか。医学部以外の学部に進学したものの、医師になるために再び大学を受験し、医学部に入学してきた人々のことを医学生の間では、再受験生(もしくは再受)と呼んでいます。正確な数字は把握しておりませんが、私の学年では再受験生の割合は全体の1割程度かと思われます。医師になる夢を諦めきれずに再挑戦した人、社会人になってから医師になりたいと考えて受験した人など、

経緯は様々です。ちなみに私は脱サラしたタイプの再受験生です。定期試験や進級判定の厳しさ、同級生との年齢差など、以前の大学生活との違いは多々ありますが、私にとっては宮崎で大学生活を送るということが大きな違いであり、非常に新鮮で楽しく感じております。車があればすぐにきれいな海を見に行けますし、夜の海は星がきれいです。海は定期試験などで疲れたときの癒しにもなっています。授業をさぼって新宿などに遊びに行っていた大学生活も楽しかったのですが、自然の美しさには敵いません。定期試験の2日前に、「53万カンデラとはどのくらい明るいのか。灯台が光っているところを見てみたい」と思い、夜中に都井岬へと向かったこともありました。温泉がたくさんあることも宮崎の魅力ですね。日帰り温泉は500円前後で入浴可能なので本当にありがたいです。海や温泉など、癒しスポットに気軽に行けるのは都市部の大学にはない素晴らしい魅力だと感じています。このように、つい遊ぶことばかり考えてしまう私ですが、宮崎の癒しに支えられながら5年生に進級することができました。気を引き締めて病院実習に臨みたいと思います。

(陣門)

あの未曾有の大震災から早2年が経過しました。NHKの報道番組によりますと、被災地、非被災地を問わず、すでにあの惨事に関して風化がみられると感じている人は69%以上にもおよびとのこと。当時は被災された方々の悲しみや苦しみを少しでも共有しようとしていた自分にも、その感情に現在トーンダウンがみられることは否めません。今一度謙虚な気持ちになって、たとえ些細なことであっても、被災された方々に何か貢献できることはないか真剣に考えてみたいと思います。

(黒川)

確定申告が終わり、決算報告書を税理士さんが持ってきました。「先生、今年は下がりましたよ。どうかしたんですか？」レクチャーを受けながらどう考えても原因がわからない。いろいろ考えあぐねるうちに気持ちも下向きになってきます。考えてばかりいてもしょうがない。えーい！とばかりに西都原公園へドライブしたところ、満開の菜の花と桜が迎えてくれました。ここは別世界。むせるような桜花の中をしばし散歩し、気分も上向きになりました。開業すると医業以外のことが多々あり、患者さんへ向かう気持ちが少し足らなかったなと反省し、気合を入れたおしました。

(釜付)

今はやりの食べ順ダイエットを始めました。というか始めさせられました。家に帰っても、野菜、発酵食品、肉、炭水化物の順に一品を食べ終わるまで次を食べさせてはくれません。出してもくれません。食事時間が長くなることも相まって、発酵食品ですでに満腹になり最後の炭水化物はほとんど食べなくなりまして。始めて1週間ほどで2kgほど痩せたのですが、先日の飲み会でちょっと油断したら一晩で元にもどっていました。やっぱり、こつこつ歩こう。

(沖田)

老健に勤めているのですが、急変時対応を確認したり、食事摂取が困難となった場合に点滴や胃ろうなどの可能性を説明したりと家族にも決断を必要とすることが多くなっております。昔なら、「先生にお

任せします」との家族も多かったのですが、トラブルを防ぐ意味もあり、きちんと書類にサインすることが求められます。誤嚥を繰り返されて病院入院を繰り返される方には、安全や管理の面からも胃ろうを勧める場合もあります。某大臣が胃ろうされている患者様について、エイリアンのような表現がありましたが、患者・家族の為に国の財源の為に(？)超高齢者の終末期のガイドラインのようなものがあると助かるなあとブツブツつぶやいてしまいました。

(大野)

今月のあとがきが私の広報委員会最後の仕事となります。現在、広報委員会で議論している『消費税と医療の問題』は個人的にも大変勉強になる内容でした。これまでの約三年を通して、医師会という組織の意義や役割を知ることのでき、また多くの先生方のお話を聞くことができたことは、大変貴重な経験であったと思います。ところで、3月19日は国試の合格発表日でした。先輩方からの歓喜のメールを見ながら、あと一年後の私はどういった気持ちでその日を迎えているのだろうかと思いが引き締まる思いです。これから一年、学生最後の年を全力で走り抜けていきたいです。

最後に、拙い文章ではありますが、私のあとがきを読んでくださった方々、ありがとうございました。

(前田)

今年は庭の桜がこれまでよりたくさん咲いてくれました。数年前に息子と一緒に植木市で購入したソメイヨシノです。あれはいつだったかな...そうだ、日州医事のあとがきに書いたはず、と調べたところ平成20年の購入でした。あとがきをばらばらと読み返してみると、当時の広報委員の先生方のお名前が懐かしく、しばし感慨にひたっていました。この3月で広報委員を卒業される3名の学生さん、お疲れさまでした。そして新しい学生さん、どうぞよろしくお願ひしますね。

(荒木)

## 今月のトピックス

### 日州医談 参議院議員比例代表選挙の意味

今年7月の参議院議員選挙は我々医師会(医師)にとって崖っぷちの選挙です。日本の医療を守るリーダーとして、組織内候補である「羽生田たかし」現日医副会長を何かなんでも上位当選させなくてはなりません。過去の選挙において当選議員を擁する各医療団体の要求は、調剤薬局のゲートキーパー構想、特定看護師制度、スイッチOTC薬問題など、現在の医療制度を根底から覆す大きな波となりつつあり、もはや政治力なしでは食い止めることはできません。池井義彦常任理事から会員の皆様に、切なる選挙協力をお願いします。

4ページ

### 各郡市医師会だより

各郡市医師会から様々な形で医療崩壊を危ぶむ声が上がっています。研修医制度問題、救急医療問題、准看護師問題などもはや政治力なしでは到底解決は望めません。これまで日医は「医師会の代弁者たる人物」を推してきましたが、もはや組織内候補を上位当選させなければどうにもならない状況まで追い込まれています。日本医師連盟が一枚岩で推す今年7月の参議院議員選挙候補者を「トップ当選」させれば、必ず今後の医療制度の諸問題においての光明となり、TPP問題に絡む「外圧」と対峙する力となるでしょう。

14ページ

### 診療メモ 2012年麻しん小流行の教訓

2012年麻しん小流行の特徴と問題点を、「2003年の宮崎県における麻しん大流行」の概要と教訓をもとに三宅和昭先生が述べてくださいました。今回の麻しん小流行において過去の教訓は生かされたのか？運が良かっただけではないのか？是非、ご一読ください。

52ページ

日 州 医 事 第76号(平成25年4月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会  
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目10番地 0985-22-5111(代)・FAX 27-6550  
<http://www.miyazakimed.or.jp/> E-mail:office@miyazakimed.or.jp

代表者 稲 倉 正 孝

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 尾田 朋樹・副委員長 上野 満, 黒川 基樹

委 員 篠原 立大, 姫路 大輔, 藪内 悠貴, 湯浅美紗子

釜付 弘志, 沖田 和久, 大野 妙子, 前田 雄洋, 陣門 洋平

担当副会長 富田 雄二・担当理事 青木 洋子, 荒木 早苗

事 務 局 学術広報課 喜入 美香, 杉田 秀博

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)